

インフロニア・ホールディングス
26年3月期 第2四半期 アナリスト向け決算説明会

November 14, 2025

26年3月期 第2四半期 決算説明資料 INDEX

1. 経営環境認識
2. 決算サマリー
3. 資本戦略・還元方針
／FY25 2Q時点の実績と通期見込
4. インフロニア・ホールディングスの業績数値
【推移・前年比】
5. セグメント別 業績数値
6. セグメント分類変更について
7. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移
【建築、土木セグメント】
8. 連結貸借対照表の主な増減の要因
9. 株価の推移とIR予定
10. 社債型株式発行による財務指標等への影響

= Appendix =

セグメント別 ハイライト

1. 建築セグメント
2. 土木セグメント
3. インフラ運営セグメント
 1. 前田建設工業
 2. 日本風力開発
4. 舗装セグメント
5. 機械セグメント

FY25 2Q実績とFY25通期計画

1. 前田建設工業
2. 前田道路
3. 前田製作所
4. 日本風力開発
5. 三井住友建設
6. 主なグループ会社

補足資料

※注 短信の数値には、各セグメントに所属する関係会社の業績が含まれており、個別数値とは合致しません

1. 経営環境認識

- 市場環境や受注環境、資材価格等に関する当社の認識、対応

セグメント	市場	市場認識	当社の状況	当社の取組み
建築		建設投資額は高水準を維持しているが、着工床面積は微減傾向。建設費高騰によるプロジェクトの中止・延期の発生状況を注視		直近の手持ち工事量は豊富。MK・SMC双方の強みを活かし、中長期的な案件情報の取得に注力するとともに、スケールメリットの実現、新たな成長領域の取り込みを目指す
土木		国土強靱化による公共事業と脱炭素に関連する民間投資の堅調な推移が景況感を下支えする。担い手不足や資材価格の高騰といった課題が依然としてあるものの土木工事量は過去数年規模を維持継続		防災・減災、国土強靱化加速化対策に基づく国交省工事、高速道路4車線化及びRN-PJ、自衛隊施設強靱化計画などを狙う。民間工事では原発再稼働、再エネ、カーボンニュートラル関連の工事に注力
インフラ運営 (MK)		官民連携市場は、アリーナやウォーターPPPが本格的に案件化。再生可能エネルギー市場は、インフレ等によるコスト増があるものの、データセンターや半導体工場などの相次ぐ稼働も影響し、再エネの価値が上昇。市場は拡大傾向		過去の受注案件の経験を活かし、さらなる案件獲得に取り組む。業績については確実な収益確保を見込む
インフラ運営 (JWD)				再エネ価値の高まりを背景として着実に開発案件を推進。電力小売事業やO&M事業の拡大により収益増を見込む
舗装		道路事業費は2010年度以降横ばい、アスファルト合材出荷量は減少傾向		完全週休2日制を実施しながらも、受注時利益率の改善と適切な価格設定により収益確保を見込む
機械		国内においては、公共投資等に支えられ、ほぼ横ばいに推移。海外においては、欧州を中心にカーボンニュートラルに対応する製品の需要は根強い		バッテリー仕様機やICT建機を中心とした高付加価値製品の販売・レンタルを強化、また、高利益率のサービス事業を確実に取り込むことで利益確保を図る

2. 決算サマリー

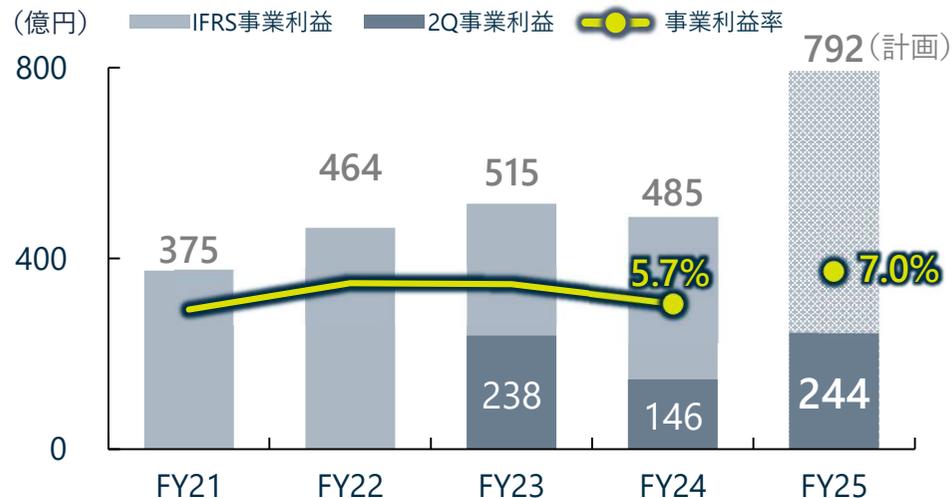
セグメント	決算サマリー
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> • FY25 2Q実績は、前年同期比で増収増益。売上高・事業利益・EBITDA・当期利益はHD設立以来過去最高となった • 三井住友建設の経営統合及び各セグメントの業績見直しにより、通期計画を上方修正 • 当期利益は、投資資産の評価益計上等により、前年同期比で165億円増加（前年同期比204%増） • 11月14日の通期業績予想の見直しに伴い、期首時点より期末配当を25円増配
建築	<ul style="list-style-type: none"> • 前田建設の2Q実績は、前年同期比で増収増益。上方修正した通期計画達成に向け、順調に進捗 • 三井住友建設の通期業績は、手持工事の順調な進捗により、計画達成を見込む
土木	<ul style="list-style-type: none"> • 前田建設の2Q実績は、前年同期比で増収減益。重点現場の工事進捗管理及び設計変更の獲得額向上により、通期計画達成を見込む • 三井住友建設の通期業績は、手持工事の工事進捗管理、設計変更の獲得並びに新規案件の早期着手により、計画達成を見込む
インフラ運営	<ul style="list-style-type: none"> • 前田建設グループの2Q実績は、前年同期比で増収増益。愛知道路コンセッション、大阪工業用水等のコンセッション事業の着実な進捗、菰野ヴィラ売却により、通期業績は増収増益を見込む • 日本風力開発の2Q実績はほぼ横ばい。案件売却スケジュールの見直しにより、通期計画を下方修正
舗装	<ul style="list-style-type: none"> • 2Q実績は、受注時利益管理の徹底や、適切な価格転嫁により、前年同期比で増収増益 • 受注時利益率の確保や適正な販売単価の維持により通期計画の達成を見込む
機械	<ul style="list-style-type: none"> • 2Q実績は、一部産機製品及び建機商品の販売台数減少により、前年同期比で減収増益 • 高付加価値製品の販売拡大と環境商品レンタル分野を中心としたレンタル事業拡大により、通期計画達成を見込む

3. 資本戦略・還元方針／FY25 2Q時点の実績と通期見込

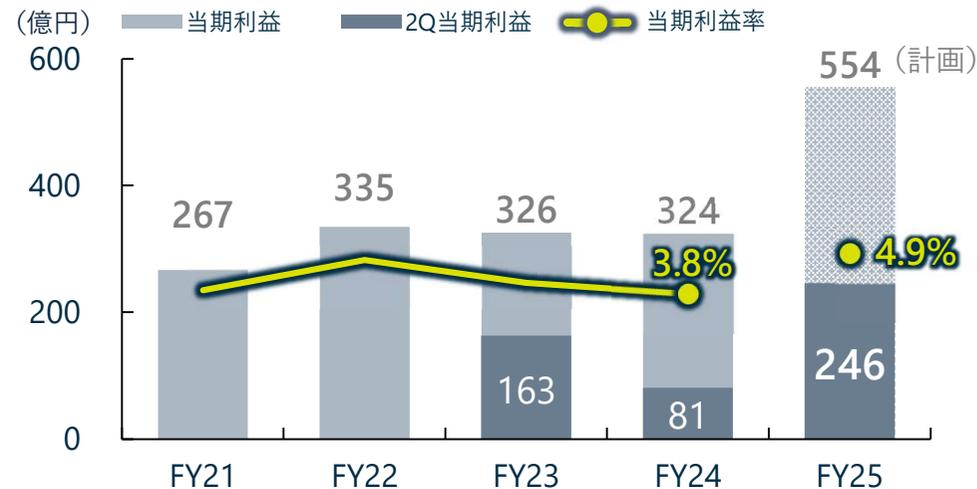
Medium-term Vision 2027			FY24実績	FY25 2Q実績・ 通期見込	
資本効率	ROE	12.0%	7.5%	11.9% (通期)	期末業績予想の上方修正に伴い、通期見込みを更新
最適 資本構成	自己資本比率	30%以上	35.8%	30.0% (2Q)	三井住友建設株式取得に伴うブリッジローン調達により有利子負債が増加
	D/Eレシオ	1.0倍以下	0.8倍	1.0倍 (2Q)	
株主還元	配当性向	FY25~27 40%以上	48.3%	40.0%	種類株式配当は除く
	配当額	下限配当 60円/株	60円/株	30円 (中間) 55円 (期末)	期末業績予想の上方修正に伴い、前期比で1株あたり 25円増配
資産 効率化	政策保有株/ 純資産割合	FY27までに 保有 ゼロ	14.7%	15.5% (2Q)	方針に基づき売却を推進中 株価上昇により、純資産に占める割合は増加
	保有不動産 の売却	FY27までに 100億 以上	—	—	保有資産の精査、売却候補の選定やスキームの検討を実施

4-1. インフロニア・ホールディングスの業績数値の推移

事業利益

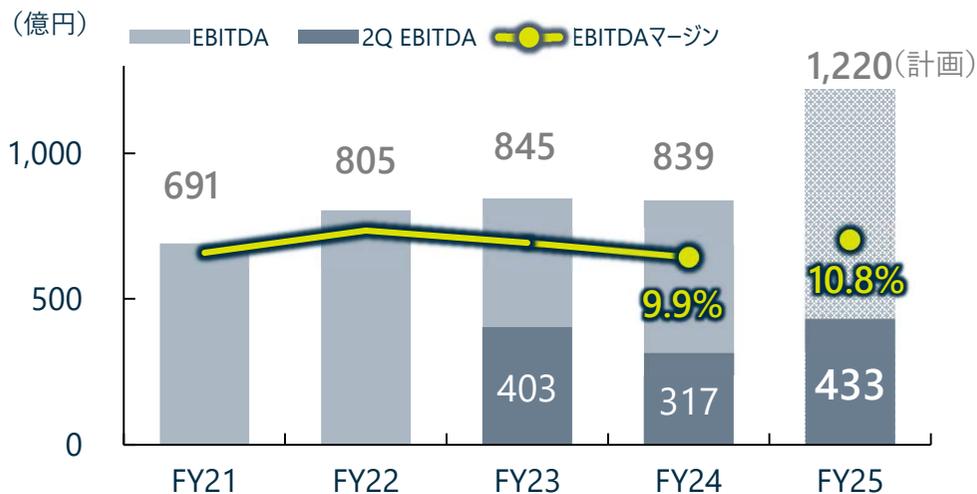


当期利益



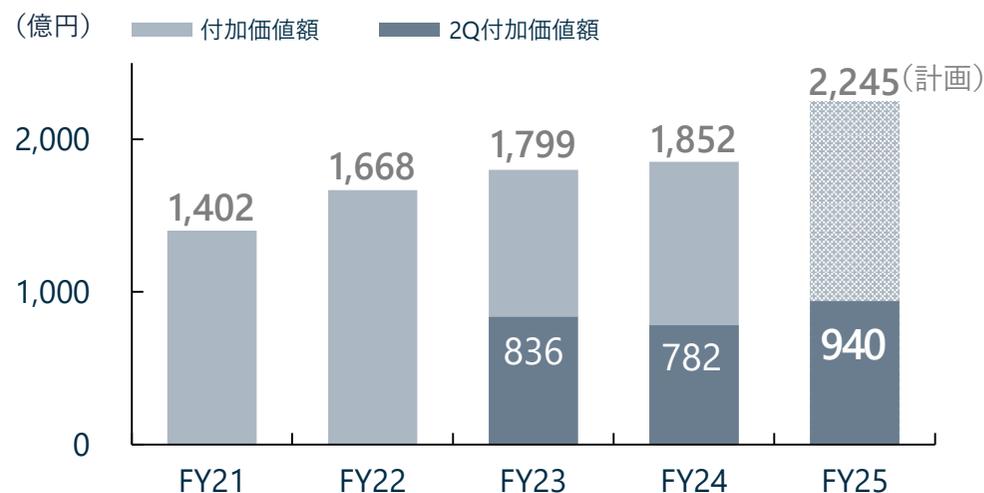
EBITDA

EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 (IFRS)



付加価値額

付加価値額 = 事業利益 + 減価償却費 + 総人件費 + 研究開発費 (IFRS)



* 通期実績値：FY22よりIFRS基準による数値

* 2Q実績値：FY23よりIFRS基準による数値

4-2. インフロニア・ホールディングスの業績数値

- FY25 2Q実績は、**前年同期比で増収増益**。売上高・事業利益・EBITDA・当期利益はHD設立以来過去最高となった
- 三井住友建設の経営統合及び各セグメントの業績見直しにより、**通期計画を上方修正**
- 当期利益は、投資資産の評価益計上等により、前年同期比で**165億円増加**（前年同期比204%増）

(億円)

	第2四半期				通期		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	前年 同期比	進捗率	FY24 通期実績	FY25 11/14修正計画	前期比
売上高	3,807	4,245	438	37.5%	8,475	11,330	2,855
売上総利益	470 (12.3%)	597 (14.1%)	127	37.8%	1,155	1,578 (13.9%)	423
一般管理費	327 (8.6%)	353 (8.3%)	26	37.8%	683	934 (8.2%)	251
持分法による投資利益	4 (0.1%)	0 (0.0%)	△4	0%	14	148 (1.3%)	134
EBITDA	317 (8.3%)	433 (10.2%)	116	35.5%	839	1,220 (10.8%)	381
事業利益	146 (3.8%)	244 (5.7%)	97	30.8%	485	792 (7.0%)	307
その他の収益	9	4	△5	—	18	16	△2
その他の費用	12	10	△2	—	32	93	61
営業利益	143 (3.8%)	237 (5.6%)	93	33.1%	471	715 (6.3%)	244
金融収益	13	143	130	—	105	198	93
金融費用	27	30	3	—	79	89	10
当期利益 ^{※1}	81 (2.1%)	246 (5.8%)	165	44.3%	324	554 (4.9%)	230
自己資本	4,940	5,472	—	—	5,191	5,649	—
ROE（普通株式）	—	—	—	—	7.5%	11.9%	—
EPS	—	—	—	—	123.7円	212.0円	—

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない

5. セグメント別 業績数値（前年同期比）

(億円)

		FY24	FY25	前年	進捗率
		2Q実績	2Q実績	同期比	(通期計画比)
売上高		3,807	4,245	438	37.5%
建築		1,564	1,839	275	36.6%
土木		670	790	120	28.5%
舗装		1,230	1,252	22	45.6%
機械		200	175	△ 25	43.6%
インフラ	MK	108	156	47	53.2%
運営	JWD	22	22	0	40.7%
その他		12	12	0	38.7%
売上総利益		470 (12.3%)	597 (14.1%)	127	37.8%
建築		117 (7.5%)	201 (10.9%)	84	38.7%
土木		135 (20.2%)	148 (18.8%)	13	32.5%
舗装		155 (12.6%)	176 (14.1%)	22	43.0%
機械		43 (21.4%)	40 (23.0%)	△ 3	37.7%
インフラ	MK	13 (12.0%)	26 (16.7%)	13	44.8%
運営	JWD	5 (24.2%)	4 (17.4%)	△ 1	28.6%
その他		1 (11.6%)	2 (14.7%)	0	13.3%
EBITDA		317 (8.3%)	433 (10.2%)	116	35.5%
建築		40 (2.6%)	132 (7.2%)	92	44.6%
土木		90 (13.4%)	106 (13.4%)	16	35.3%
舗装		127 (10.3%)	131 (10.4%)	4	43.0%
機械		22 (11.1%)	18 (10.3%)	△ 4	38.3%
インフラ	MK	37 (34.6%)	49 (31.4%)	12	41.6%
運営	JWD	△ 8 (-36.6%)	△ 11 (-50.1%)	△ 3	-
その他		9 (70.7%)	9 (76.7%)	0	5.4%
事業利益		146 (3.8%)	244 (5.7%)	98	30.8%
建築		6 (0.4%)	87 (4.7%)	81	45.0%
土木		70 (10.4%)	84 (10.6%)	14	36.7%
舗装		75 (6.1%)	78 (6.2%)	3	39.4%
機械		10 (5.1%)	5 (2.6%)	△ 5	20.8%
インフラ	MK	△ 3 (-2.6%)	4 (2.8%)	7	36.4%
運営	JWD	△ 15 (-68.8%)	△ 18 (-83.4%)	△ 3	-
その他		3 (26.7%)	4 (33.7%)	1	2.4%

※MK：前田建設 JWD：日本風力開発 ※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されている ※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されている

※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない ※FY25 2Qでセグメント変更を行ったため、前期数値・期首計画も新セグメントにて算出している

5. セグメント別 業績数値 (通期計画推移)

	FY24		FY25		FY25		FY25		FY25	
	通期実績		期首計画①		9/30修正計画		11/14修正計画②		期首計画比②-①	
売上高	8,475		8,963		11,310		11,330		2,367	
建築	3,207		3,848		5,007		5,027		1,179	
土木	1,420		1,739		2,776		2,776		1,037	
舗装	2,631		2,576		2,748		2,748		172	
機械	410		401		401		401		0	
インフラ	MK	245	270		293		293		23	
運営	JWD	61	94		54		54		△40	
その他	502		35		31		31		△4	
売上総利益	1,155 (13.6%)		1,304 (14.5%)		1,561 (13.8%)		1,578 (13.9%)		274	
建築	299 (9.3%)		387 (10.1%)		503 (10.0%)		520 (10.3%)		133	
土木	283 (19.9%)		312 (17.9%)		456 (16.4%)		456 (16.4%)		144	
舗装	368 (14.0%)		391 (15.2%)		409 (14.9%)		409 (14.9%)		18	
機械	91 (22.1%)		106 (26.4%)		106 (26.4%)		106 (26.4%)		0	
インフラ	MK	31 (12.7%)	50 (18.5%)		58 (19.8%)		58 (19.8%)		8	
運営	JWD	27 (43.4%)	43 (45.7%)		14 (25.9%)		14 (25.9%)		△29	
その他	57 (11.3%)		15 (42.9%)		15 (48.4%)		15 (48.4%)		0	
EBITDA	839 (9.9%)		918 (10.2%)		1,201 (10.6%)		1,220 (10.8%)		302	
建築	177 (5.5%)		224 (5.8%)		279 (5.6%)		296 (5.9%)		72	
土木	180 (12.7%)		196 (11.2%)		300 (10.8%)		300 (10.8%)		104	
舗装	310 (11.8%)		299 (11.6%)		305 (11.1%)		305 (11.1%)		6	
機械	46 (11.2%)		47 (11.7%)		47 (11.7%)		47 (11.7%)		0	
インフラ	MK	80 (32.7%)	108 (40.0%)		119 (40.6%)		119 (40.6%)		11	
運営	JWD	△2 (△3.3%)	15 (16.0%)		△14 (-26.0%)		△14 (-26.0%)		△29	
その他	48 (9.6%)		29 (82.9%)		165 (532.3%)		167 (538.7%)		138	
事業利益	485 (5.7%)		545 (6.1%)		773 (6.8%)		792 (7.0%)		247	
建築	113 (3.5%)		147 (3.8%)		176 (3.5%)		193 (3.8%)		46	
土木	152 (10.7%)		154 (8.9%)		229 (8.2%)		229 (8.2%)		75	
舗装	197 (7.5%)		192 (7.5%)		198 (7.2%)		198 (7.2%)		6	
機械	22 (5.3%)		24 (6.0%)		24 (6.0%)		24 (6.0%)		0	
インフラ	MK	△4 (△1.7%)	1 (0.4%)		12 (4.1%)		12 (4.1%)		11	
運営	JWD	△16 (△25.4%)	△1 (-1.2%)		△30 (-55.6%)		△30 (-55.6%)		△29	
その他	22 (4.4%)		28 (80.0%)		164 (529.0%)		166 (535.5%)		138	

※MK：前田建設 JWD：日本風力開発 ※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されている ※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されている
 ※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない ※FY25 2Qでセグメント変更を行ったため、前期数値・期首計画も新セグメントにて算出している

6. セグメント分類変更について

- 三井住友建設との経営統合に伴い、前田建設と三井住友建設の関係会社セグメント分類を整理した

前田建設グループ会社

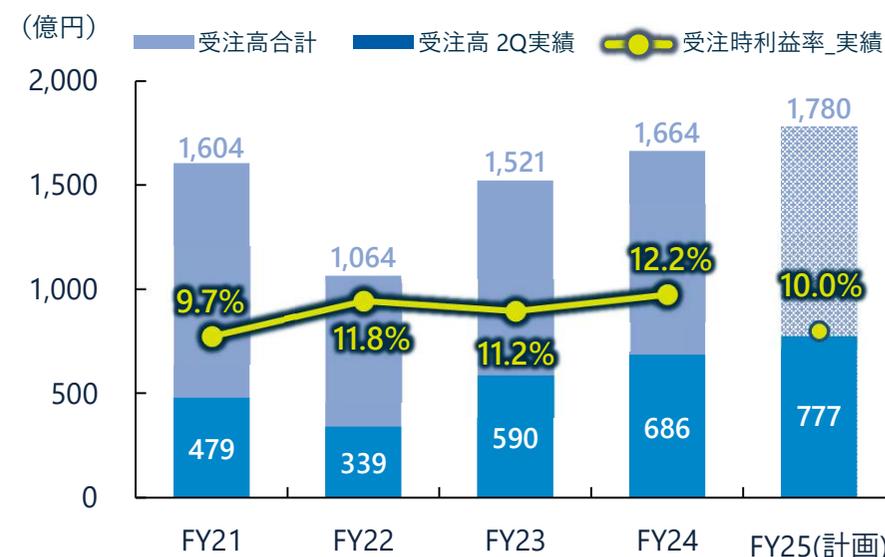
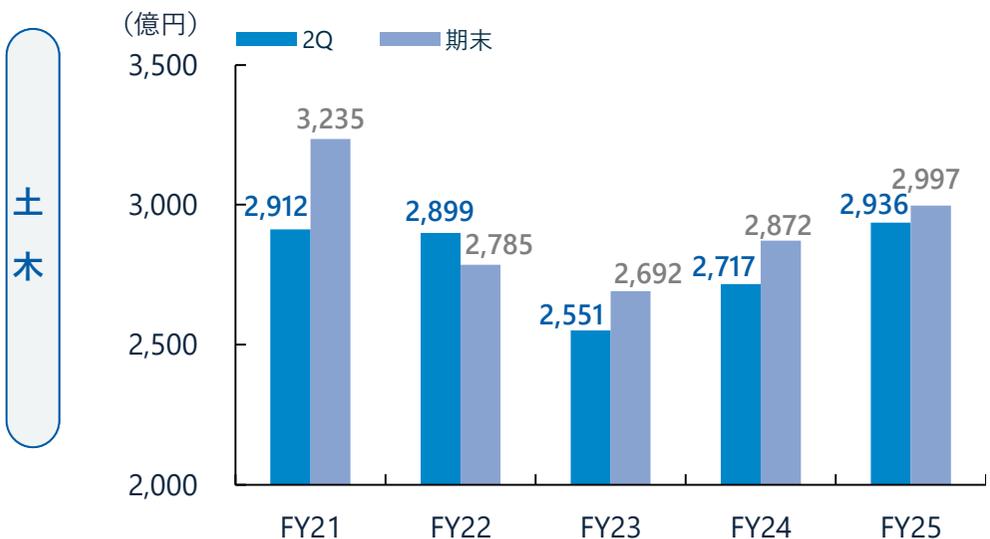
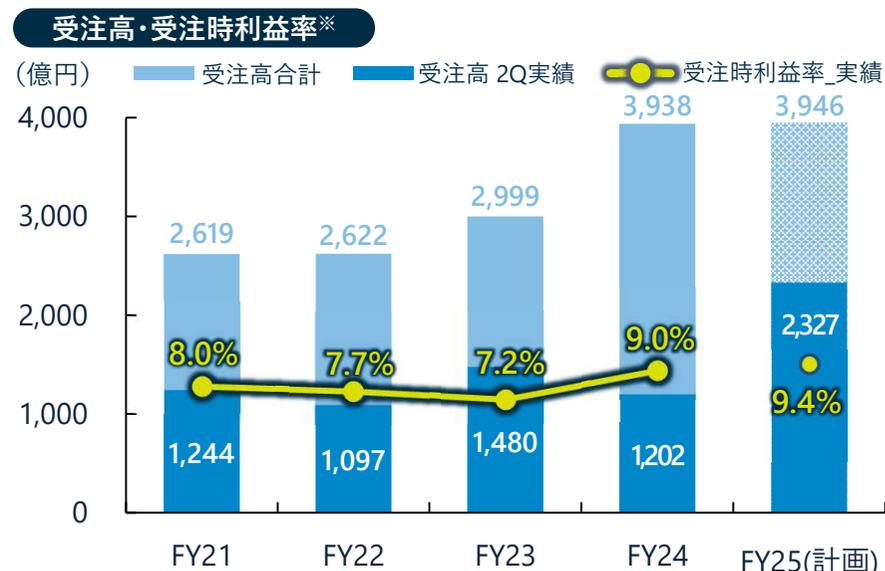
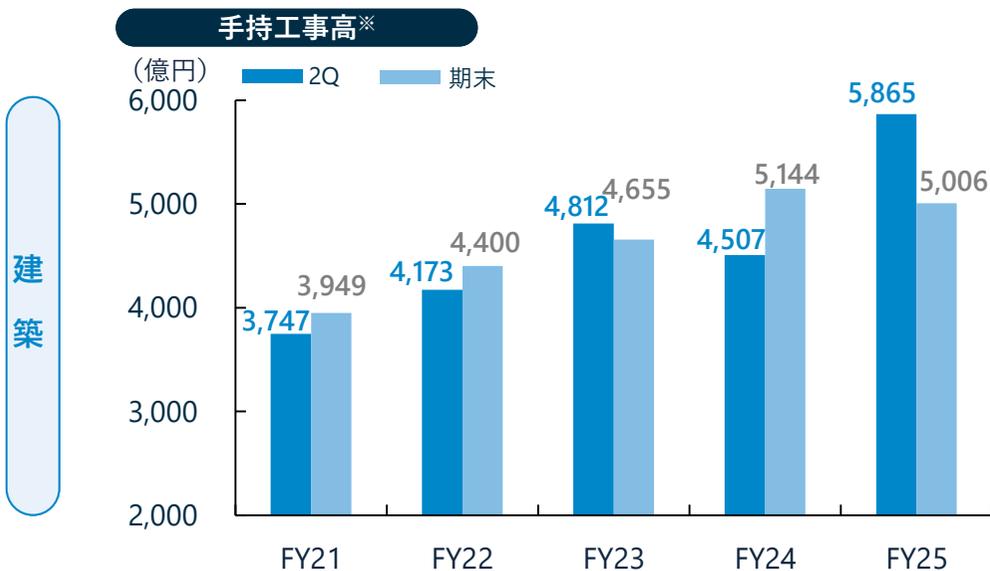
会社分類	社名	現セグメント	新セグメント
連結子会社	(株)JM	その他	建築
連結子会社	(株)エフビーエス + アコス	その他	建築
連結子会社	THAI MAEDA CORPORATION,LIMITED	その他	建築
連結子会社	フジミ工研(株) + 日本セグメント工業	その他	土木
連結子会社	インフロニアデジタルソリューション(株)	その他	その他
連結子会社	(株)ジェイシティー	その他	その他
連結子会社	(株)リアルテック	その他	その他
連結子会社	Maeda Vietnam Co.,Ltd	その他	建築
連結子会社	(株)ちばシティ消費生活サービス	その他	インフラ
連結子会社	東大阪消防PFIサービス(株)	その他	インフラ
連結子会社	さくらんぼ東根学校PFIサービス(株)	その他	インフラ
連結子会社	盛岡地区消防PFIサービス(株)	その他	インフラ
連結子会社	エネシーベース鹿児島(株)	その他	インフラ
連結子会社	さきたまプールPFIサービス(株)	その他	インフラ
持分法適用関連会社	(株)光邦	その他	その他
持分法適用関連会社	東洋建設(株)	その他	その他
持分法適用関連会社	光が丘興産(株)	その他	その他

三井住友建設グループ会社

会社分類	社名	現セグメント	新セグメント
親会社	三井住友建設(株)	土木	土木
		建築	建築
	太陽光発電	その他	土木
連結子会社	三井住建道路(株)	土木	舗装
	太陽光発電	土木	舗装
連結子会社	三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)	土木	土木
連結子会社	ドーピー建設工業(株)	土木	土木
連結子会社	(株)SMCR	建築	建築
連結子会社	SMCプレコンクリート(株)	土木・建築	土木・建築
連結子会社	SMC商事(株)	土木	土木
		建築	建築
	保険代理店		その他
連結子会社	SMCテック(株)	土木・建築	土木・建築
連結子会社	SMCCフィリピンズ	土木・建築	土木・建築
連結子会社	SMCCマレーシア	土木・建築	土木・建築
連結子会社	台湾三住建股份有限公司	その他	その他

7-1. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移（通期）【前田建設】

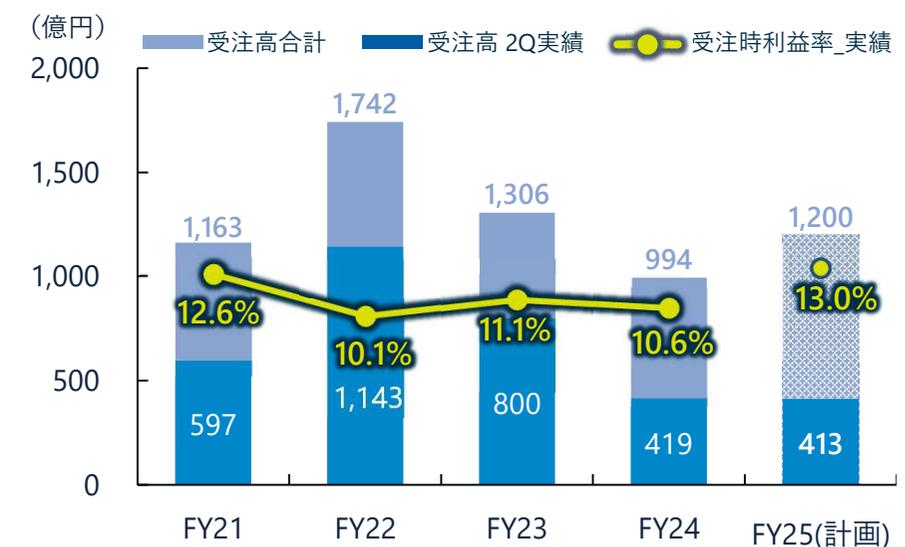
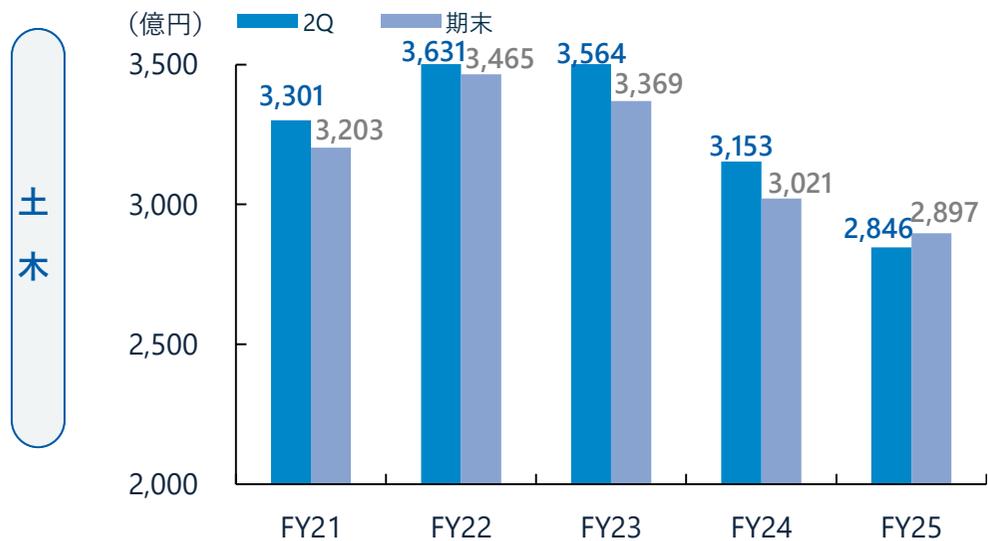
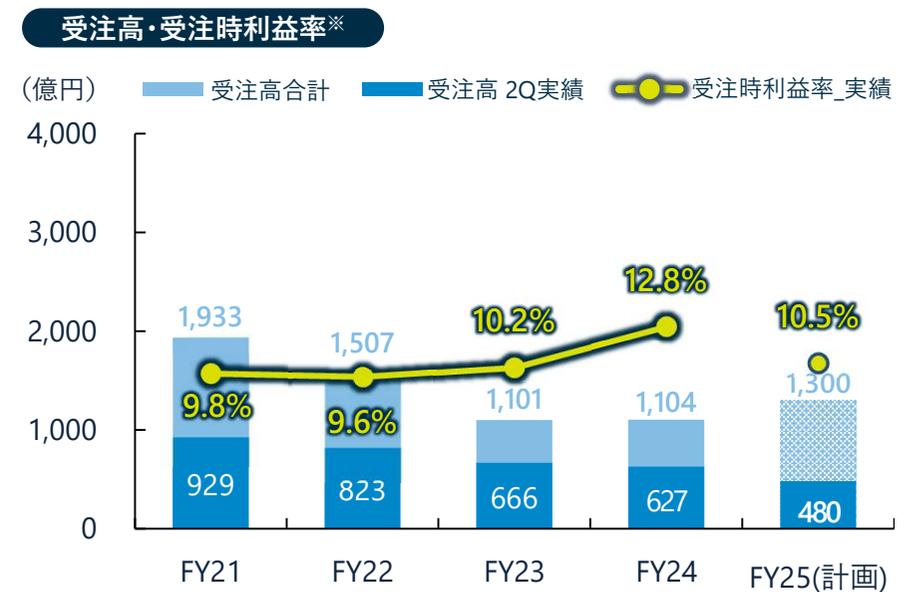
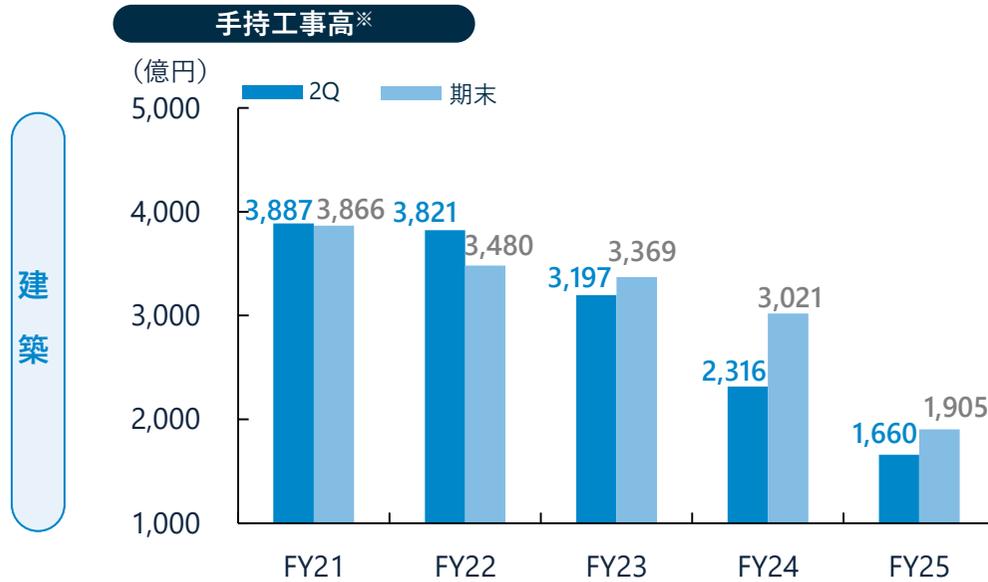
- 建築の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率は高水準**を維持。期末での手持工事高は前年同様**高水準**を見込む
- 土木の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率も高水準**を維持。期末での手持工事高は直近3年で**最高額**を見込む



※前田建設の業績数値

7-2. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移（通期）【三井住友建設】

- 建築の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率は高水準**を維持。期末での受注時利益率は10.5%以上を見込む
- 土木の受注高は前年同期並みに推移し、**受注時利益率も高水準**を維持。期末での受注高は前年を上回る見込み

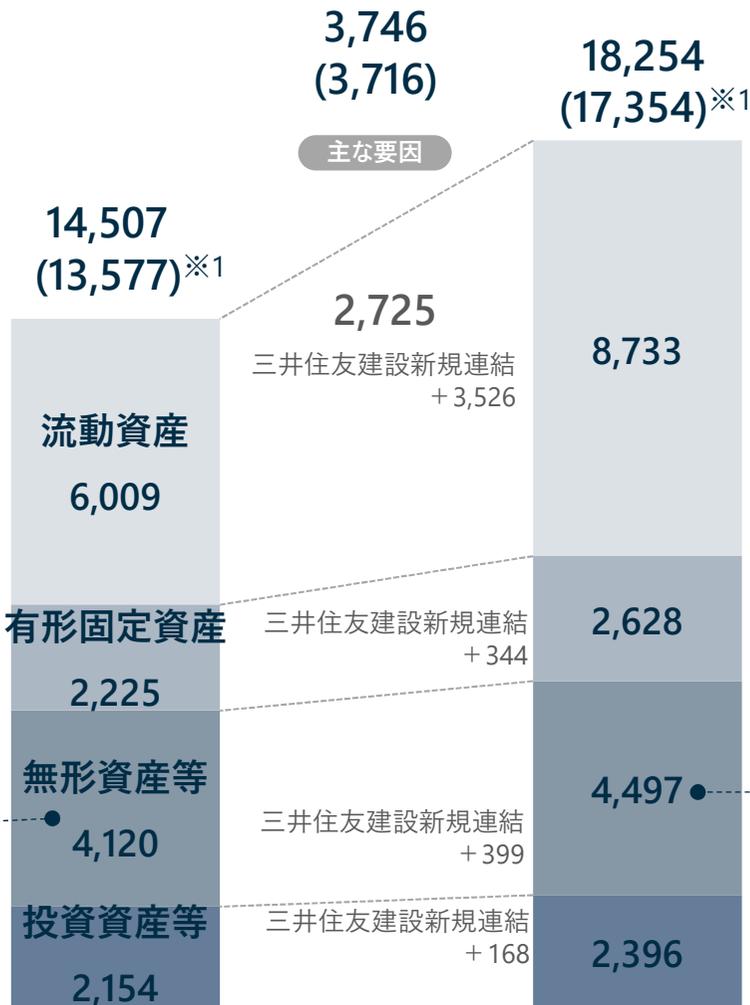


※三井住友建設の業績数値

8. 連結貸借対照表の主な増減の要因

資産

(億円)

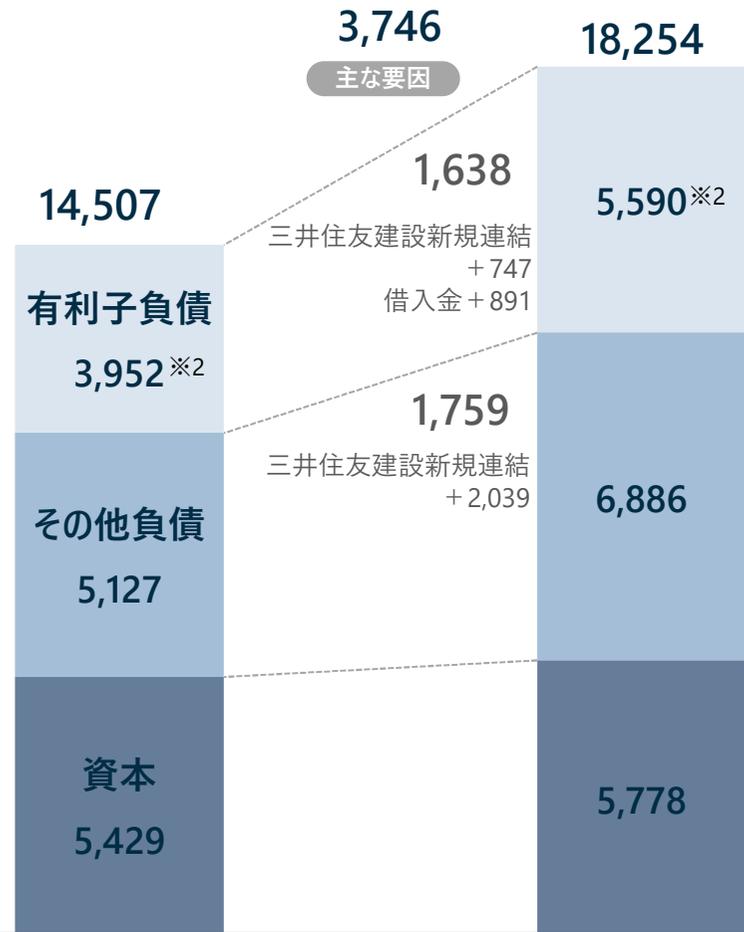


FY24

FY25 2Q

負債・資本

(億円)



FY24

FY25 2Q

公共施設等
運営権^{※3}
930

公共施設等
運営権^{※3}
900

FY24 4Q時点

ROA 2.3% (2.4%)^{※1}



FY25 通期見込み

ROA 3.4% (3.6%)^{※1}

※1 ()・・・公共施設等運営権を除いた数値

※2 有利子負債 = 短期借入金、長期借入金、ノンリコース借入金 (1年以内返済予定も含む)、社債

※3 公共施設等運営権：コンセッション事業などの数年にわたって公共施設を運営する権利の譲渡を受ける際に支払われる対価

9. 株価の推移（2025年11月13日時点）

- 11月13日にHD設立以来の**株価最高値を更新**
- 中期経営計画に定めた資本戦略の実施および業績目標達成により**資本効率を意識した経営を進める**



最高値
1,806円(2025年11月13日)

引き続き積極的なIRを実施

アジア、欧州・北米IRの実施
(2025年6月、7月、10月)



指標	2025.11.13終値(1,806円)にて算定
PER	8.5倍 (予定)
PBR (普通株式)	1.12倍
配当利回り	4.7% (予定)

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
自己株取得 200億円	自己株取得 100億円	自己株取得 100億円		
配当性向 42.2% 総還元性向 111.2%	配当性向 39.7% 総還元性向 69.5%	配当性向 46.3% 総還元性向 78.7%	配当性向 48.3%	配当性向 40% (予定)

※2021年10月1日時点の株価を基準(0)とした、株価の伸び率を%で表示

10. 社債型株式発行による財務指標等への影響

- 社債型種類株式は普通株式とは区別され、PBR算定時の純資産からは除く
- ROE・EPSは、優先配当分が差し引かれる為、普通株主に帰属する当期純利益は減少

(単位のないものは億円)

財務指標	算定式	FY25通期見込
ROE (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{自己資本} - \text{社債型種類株式に係る純資産}} \quad (\text{※二期平均})$	$\frac{554 - 26^{*\text{1}}}{((5,191 - 968) + (5,649 - 968))/2} = 11.9\%$
EPS (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{発行済株式数 (普通株式)}}$	$\frac{554 - 26^{*\text{1}}}{24,904 \text{万株}} = 212.0 \text{円}$
PBR (普通株式・2Q時点)	$\frac{\text{時価総額 (普通株式)}}{\text{自己資本} - \text{社債型種類株式に係る純資産} - \text{優先配当} - \text{新株予約権 (CB)} \quad \text{※4}}$	$\frac{1,806 \text{円}^{*\text{2}} \times 27,485 \text{万株}^{*\text{3}}}{5,471 - 968 - 26^{*\text{1}} - 26^{*\text{4}}} = 1.12 \text{倍}$
D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{自己資本 (種類株式を含む)}}$	$\frac{5,792}{5,649} = 1.02 \text{倍}$

※1 社債型種類株式配当金 26億円

※2 株価は2025.11.13終値にて算定 (1,806円)

※3 自己株式を含む

※4 2024年3月に発行したユーロ円建転換社債型新株予約権付社債 (グリーンCB) に関する新株予約権

Appendix

前田建設（個別）
三井住友建設

建 築

前田建設（個別）
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

機 械

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

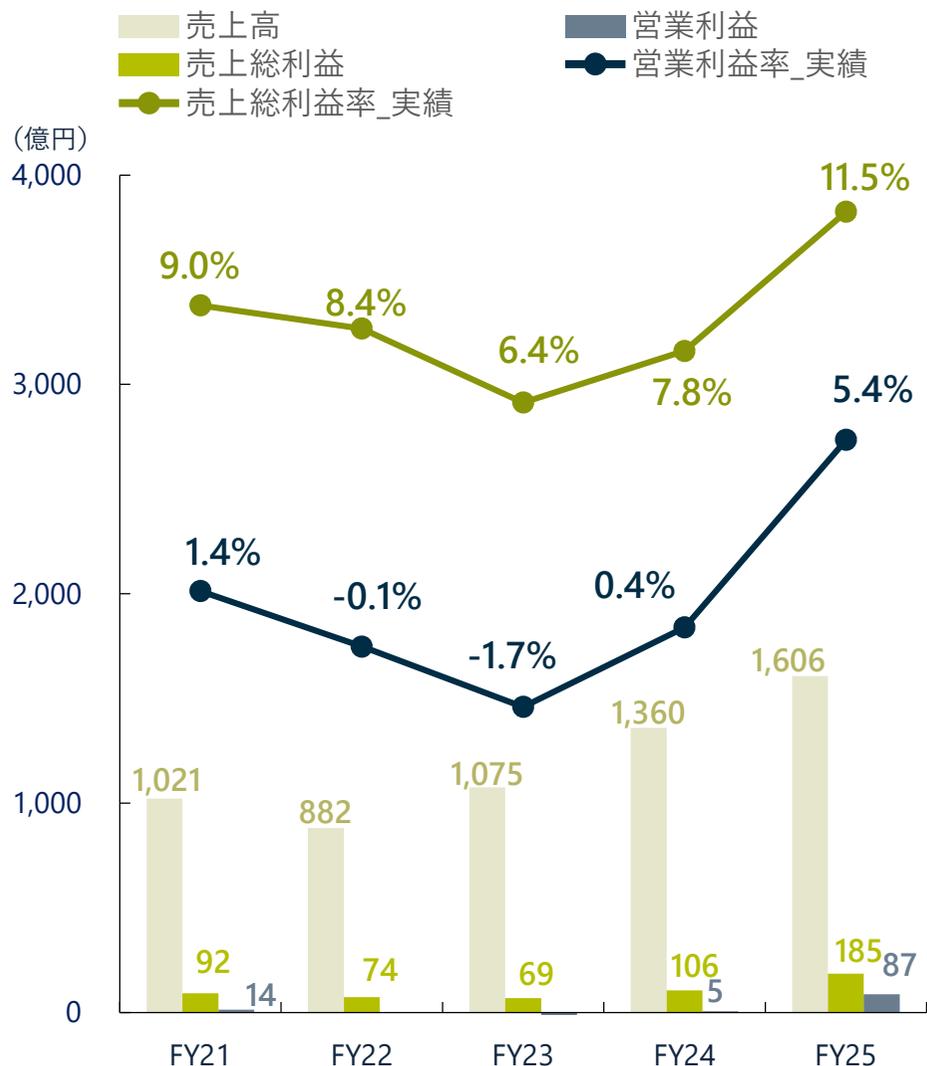
機 械

セグメント別ハイライト

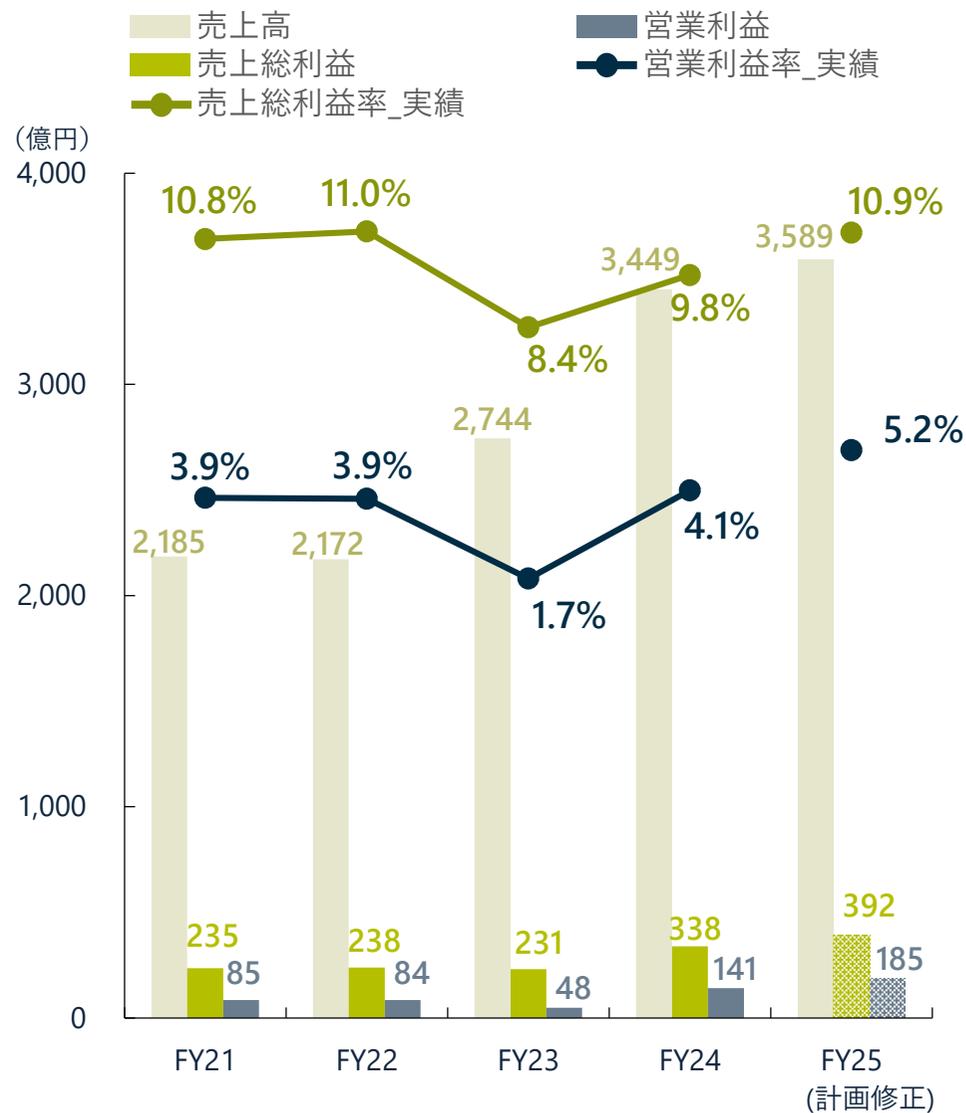
1-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 採算性が良い手持工事の順調な進捗により、前年同期比**増収増益**
- FY25計画 手持工事の順調な消化と新規受注工事の進捗により、売上高・利益ともに**通期計画を上方修正**

第2四半期



通期

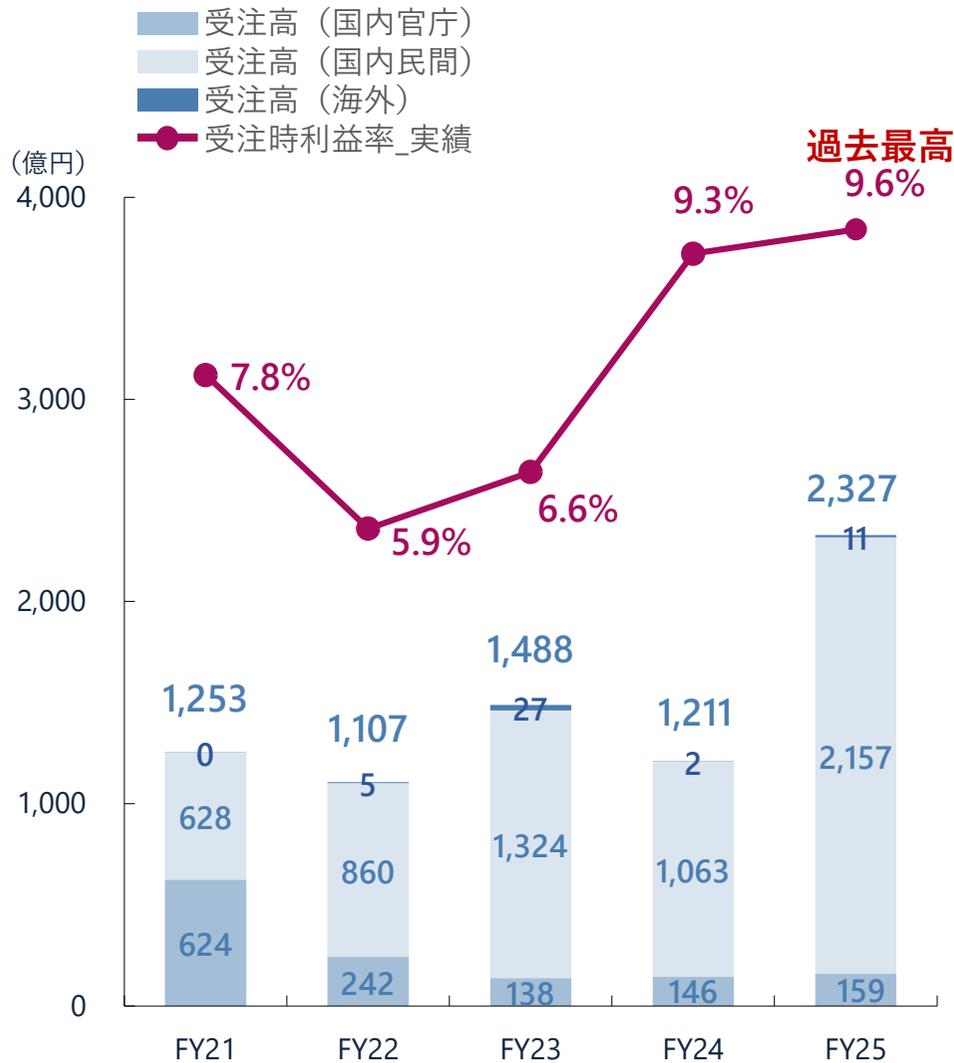


※海外の主要現地法人の売上高、売上総利益はインフロニア・ホールディングス 建築セグメントに含まれる

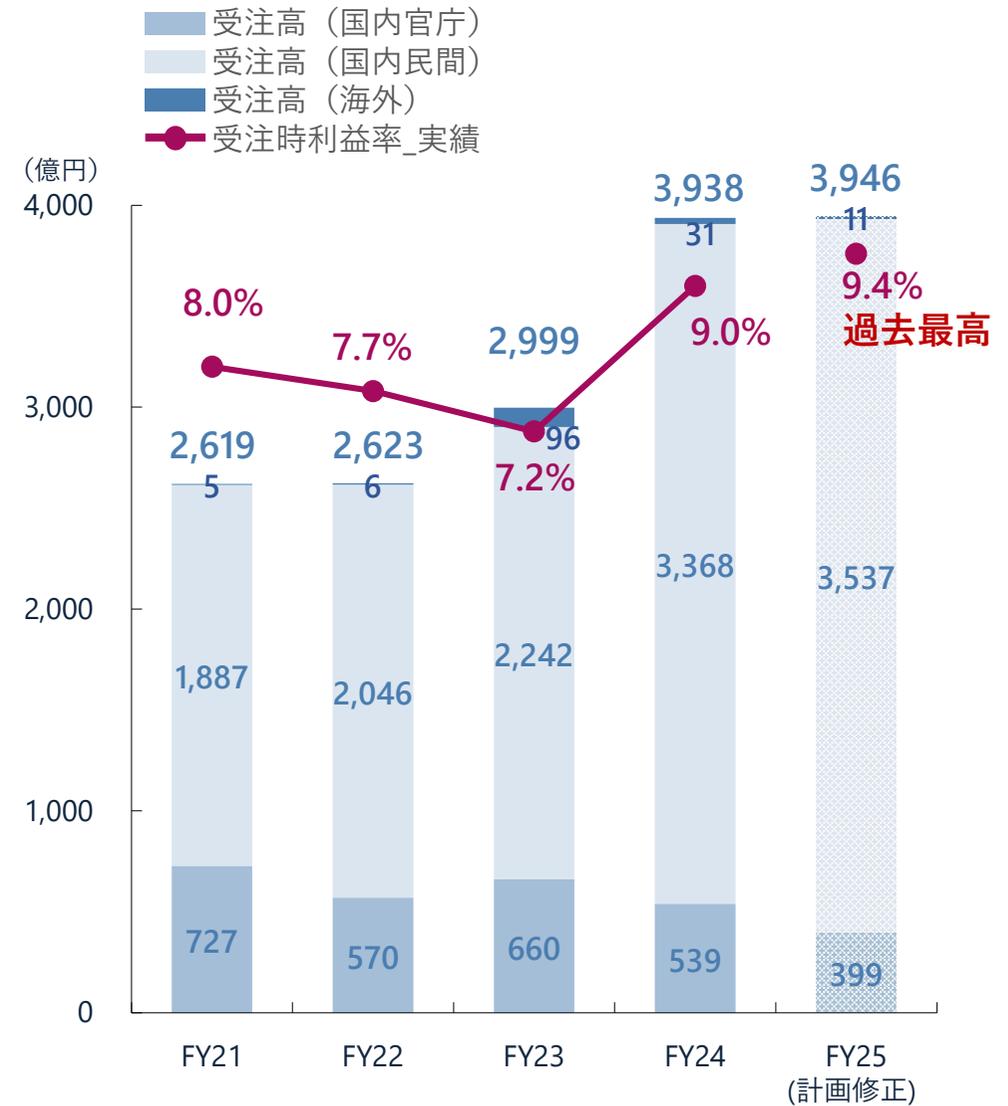
1-2. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 2Q 計画通りに受注できており、受注時利益率も9.6%と高水準を達成
- FY25計画 期中に受注確度が高まり、通期計画を上方修正。また、**受注高・受注時利益率は過去最高を更新**する見込み

第2四半期



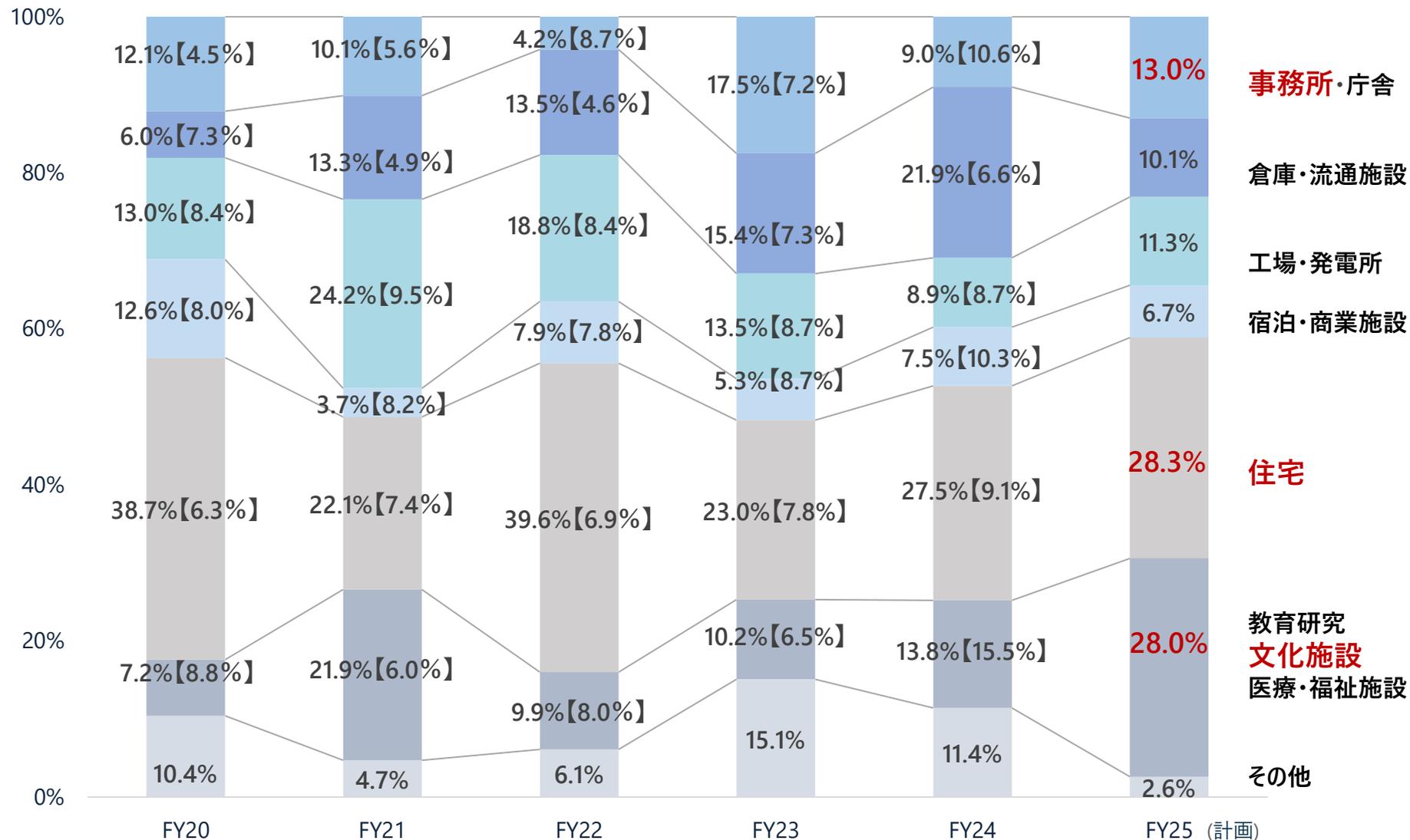
通期



1-3. 建物用途別 受注比率の推移

- 大型案件受注により「住宅」、「文化施設」、「事務所」の受注比率が高まる見通し

【 】の中は、受注時利益率の実績



1-4. トピックス「国際基準のMICE施設」「循環型社会に対応した中間処理施設」

(仮称) 大阪IRプロジェクト ブロックC新築工事



[MGM大阪株式会社提供/転載禁止]

大阪・夢洲に計画されている統合型リゾート(IR)の建設工事となります。大阪IRは国際会議場や展示場、ホテル、レストラン、高級ブランド店、エンターテインメント施設、カジノなどから構成されており、当社はその中でMICE施設(国際会議場・展示等施設)を建設します。大阪IRは、国際的な展示会、見本市、各種催事に対応した、質・規模ともに世界水準の施設を目指しており、宿泊や飲食、物販、サービス施設との機能連携や良好なアクセスの確保によって利用者が快適に利用できるオールインワンのMICE拠点としての整備が計画されています。

発注者：MGM大阪株式会社

用途	展示場・会議場
工期	2025年10月～2030年秋頃

沼津市新中間処理施設整備運営事業



現稼働中の清掃プラントは昭和51年稼働開始で、耐震性が確保されていない建築物と診断されており、大規模災害が発生した場合の多大な被害が懸念されておりました。本案件は、このような懸念を払拭するため、十分な耐震性を確保することはもちろんのこと、燃焼炉やリサイクル処理システムに最新の技術を用いて、環境負荷の低減と効率的なリサイクルを進めるとともに、焼却によって生じる熱エネルギーを最大限回収して発電や余熱利用に有効活用することで、循環型社会の形成及び地球温暖化防止を推進できる施設計画となります。

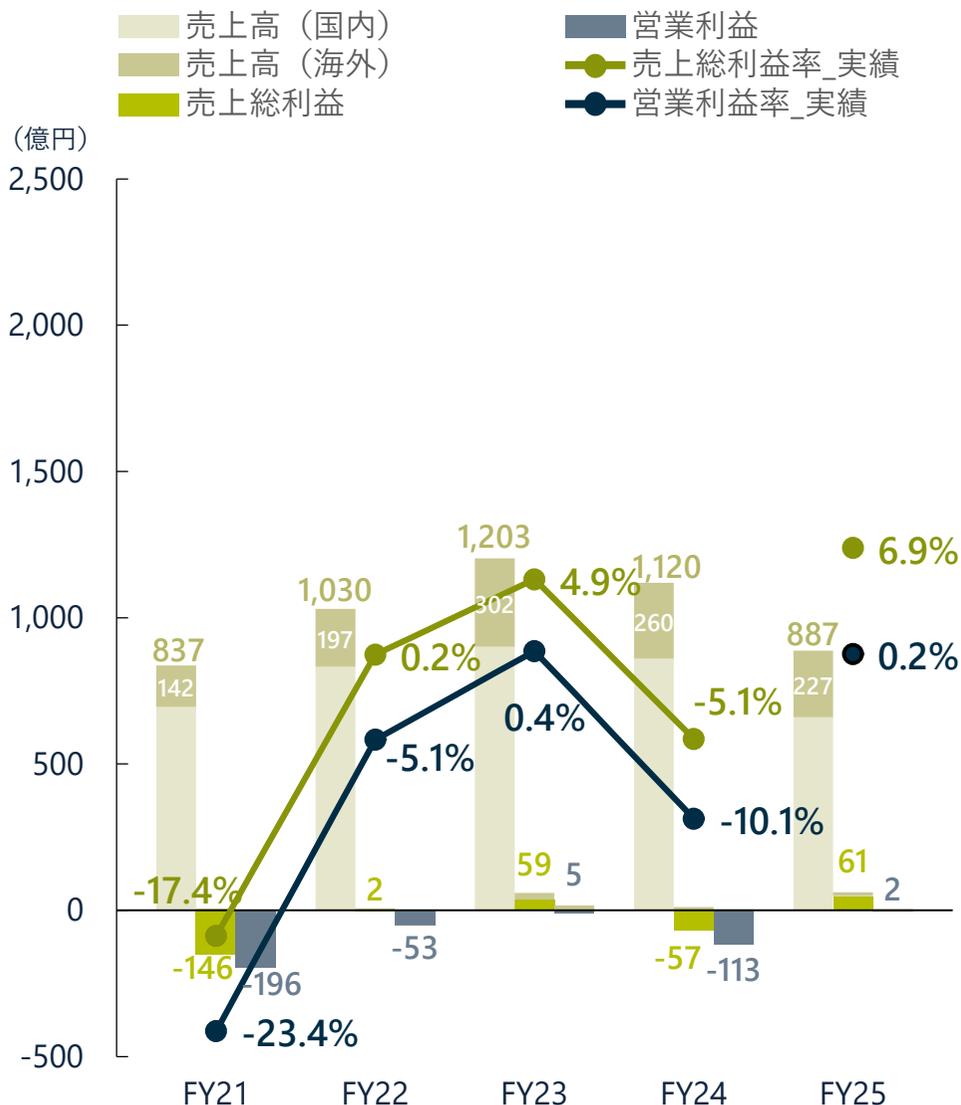
発注者：沼津市

用途	ごみ処理施設・リサイクル施設
構造・規模	工場棟：RC造、S造、SRC造、地上6階、地下2階 管理棟：S造、地上3階
延床面積	工場棟：15,819.39㎡ 管理棟：685.12㎡
工期	2025年7月～2029年12月

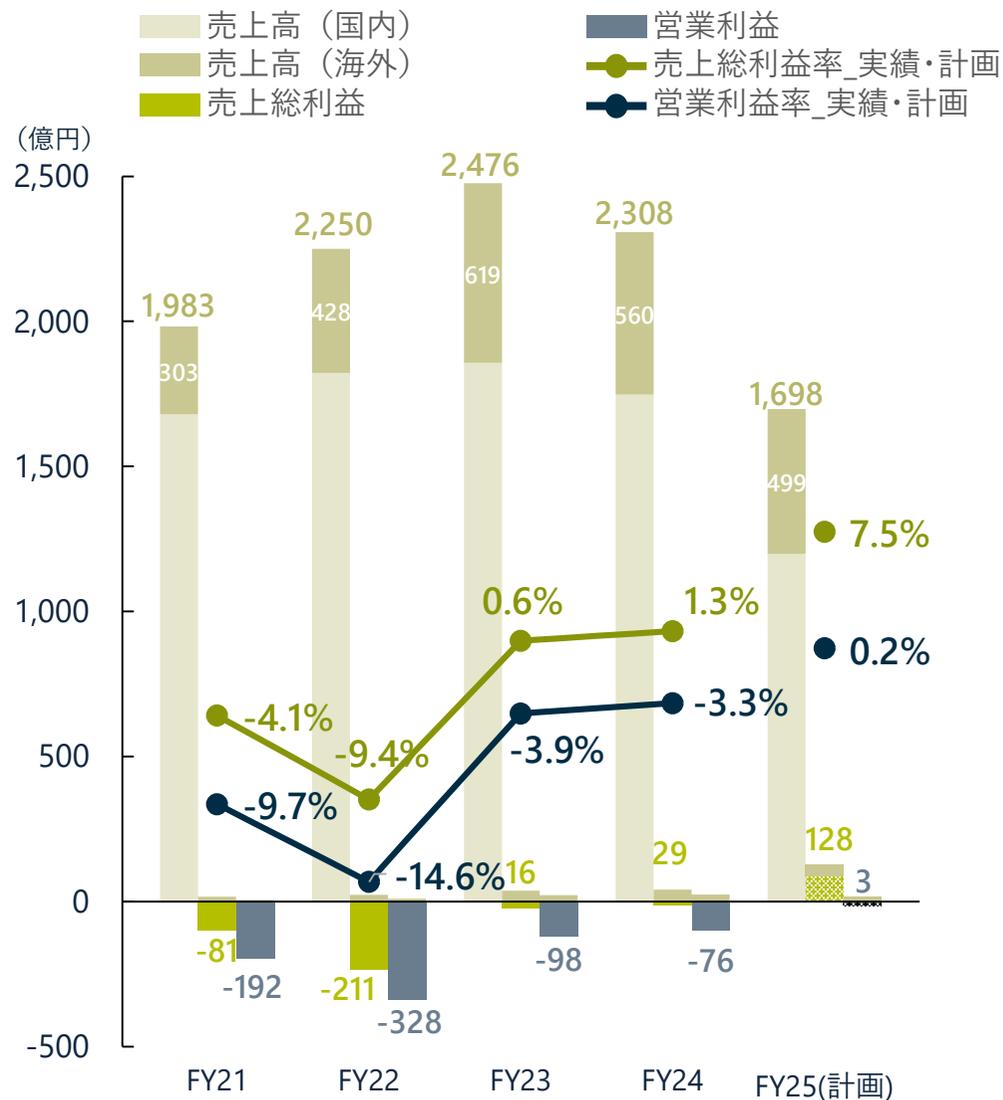
1-5. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 繰越高の減少により、売上高は大きく減少したが、国内大型工事の損失影響がなかったため、前年同期比、減収増益
- FY25計画 手持工事の順調な進捗により、売上高、利益ともに期首計画を達成する見込み

第2四半期



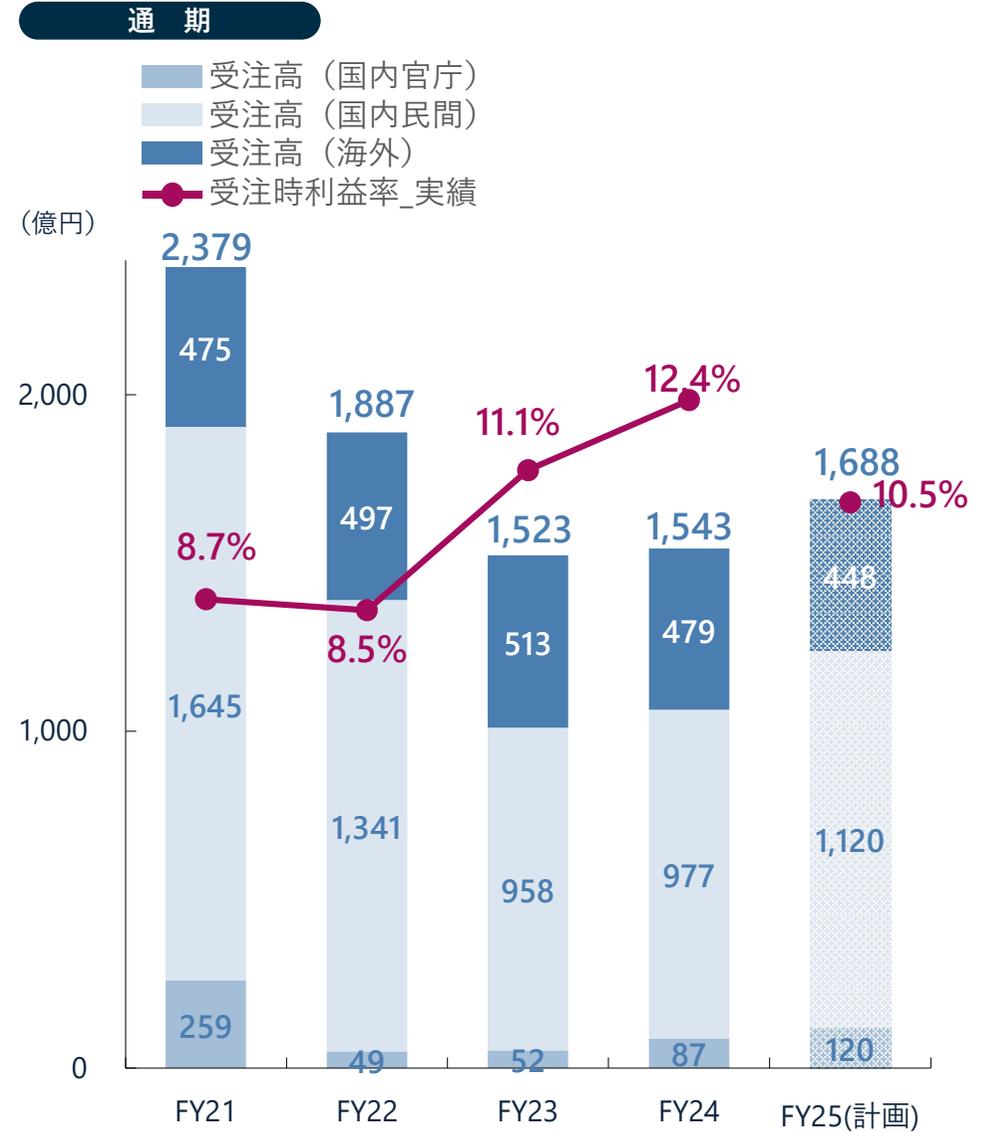
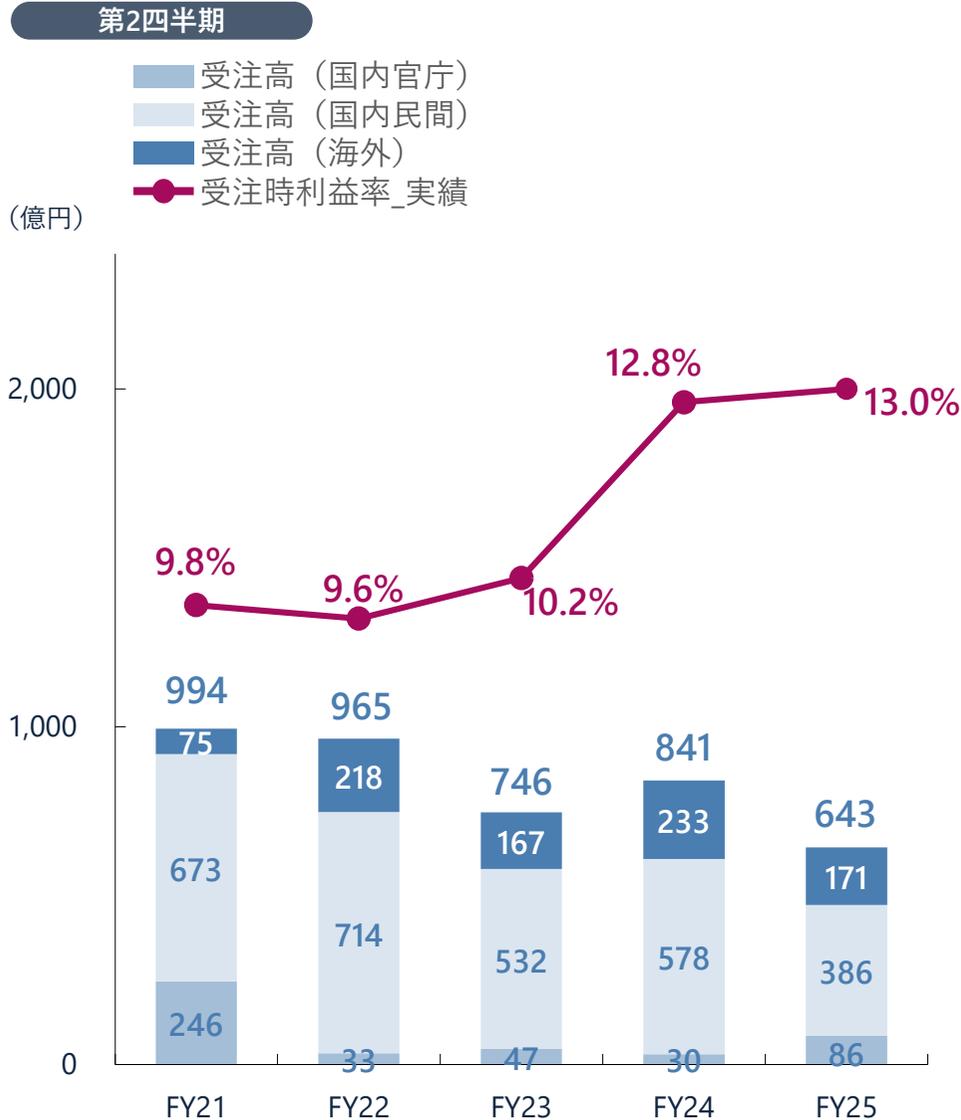
通期



※売上高 (海外) は、三井住友建設個別における海外売上高と海外現法における売上高の合算

1-6. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 2Q 受注高は、期首計画通りに順調に推移している
- FY25計画 受注予定案件の確実な受注により、期首計画は達成の見込み、受注時利益率は、10.5%以上を見込む

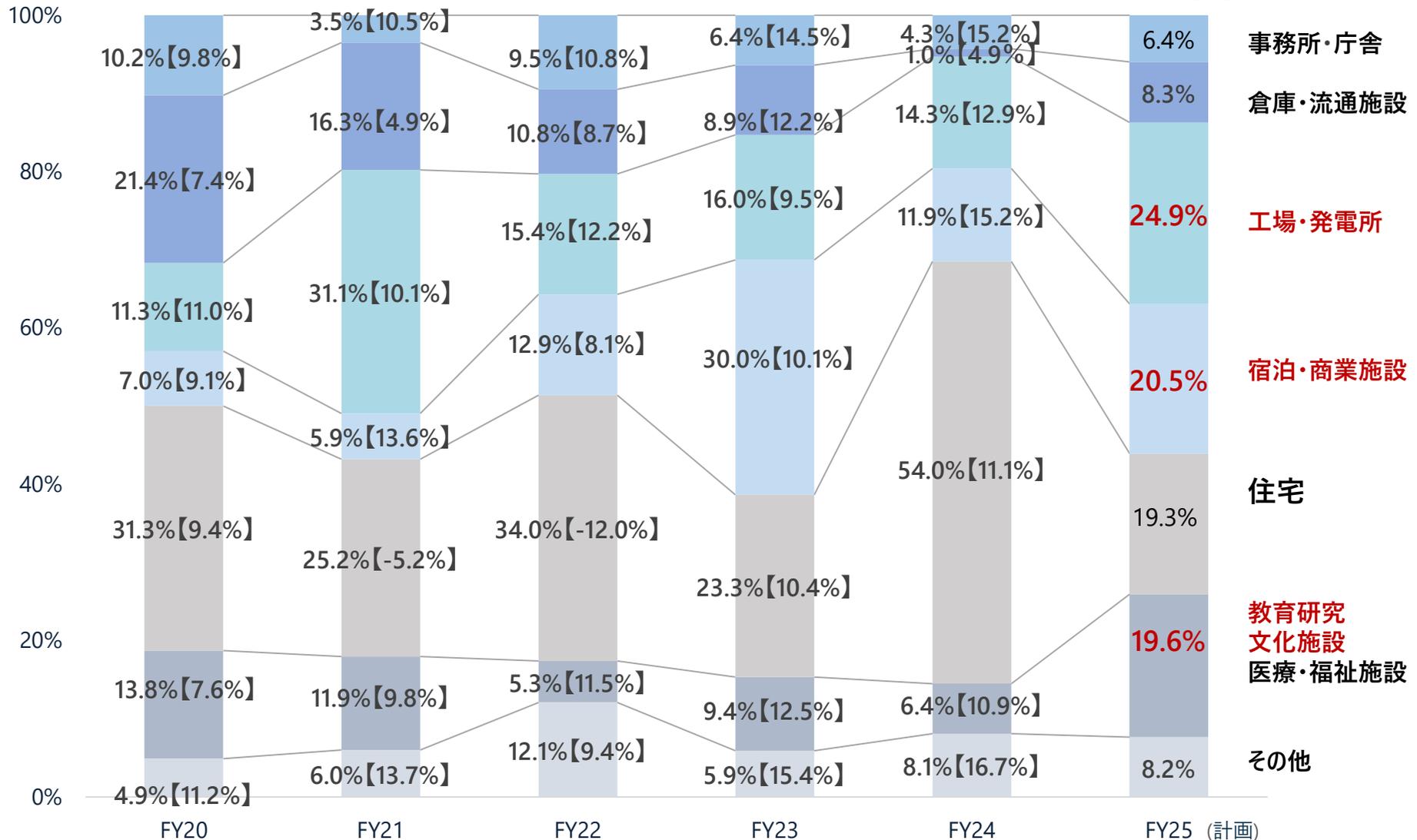


※受注時利益率の実績は国内建築工事の実績

1-7. 建物用途別 受注比率の推移

● 「工場・発電所」、「教育研究文化施設」、「宿泊施設」の案件の受注を見込んでおり、例年より比率が高まる見通し

【 】の中は、受注時利益率の実績



1-8. トピックス「教育・文化・研究施設」に係る取組



名古屋市立大学田辺通キャンパス整備工事

名古屋市立大学が大きく生まれ変わる、キャンパス再編整備プロジェクトが進行中です。田辺通キャンパスでは、既存の薬学研究科や先端薬学研究・共同利用研究施設等に加えて、理学研究科・総合生命理学部が移転する計画となっており、研究の拠点として新棟の整備、食堂の拡張などを行います。自然科学領域を融合し、多様な人々が集う共創空間となるキャンパスを目指し、将来の学生達に喜んでもらえる施設づくりを、これまでの様々な施設建設の実績から得たノウハウを活かし、施工を進めてまいります。

発注者：公立大学法人名古屋市立大学

用途	教育・文化・研究施設
構造・規模	S造、地上6階
延床面積	約11,200㎡
工期	2025年6月～2027年5月

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

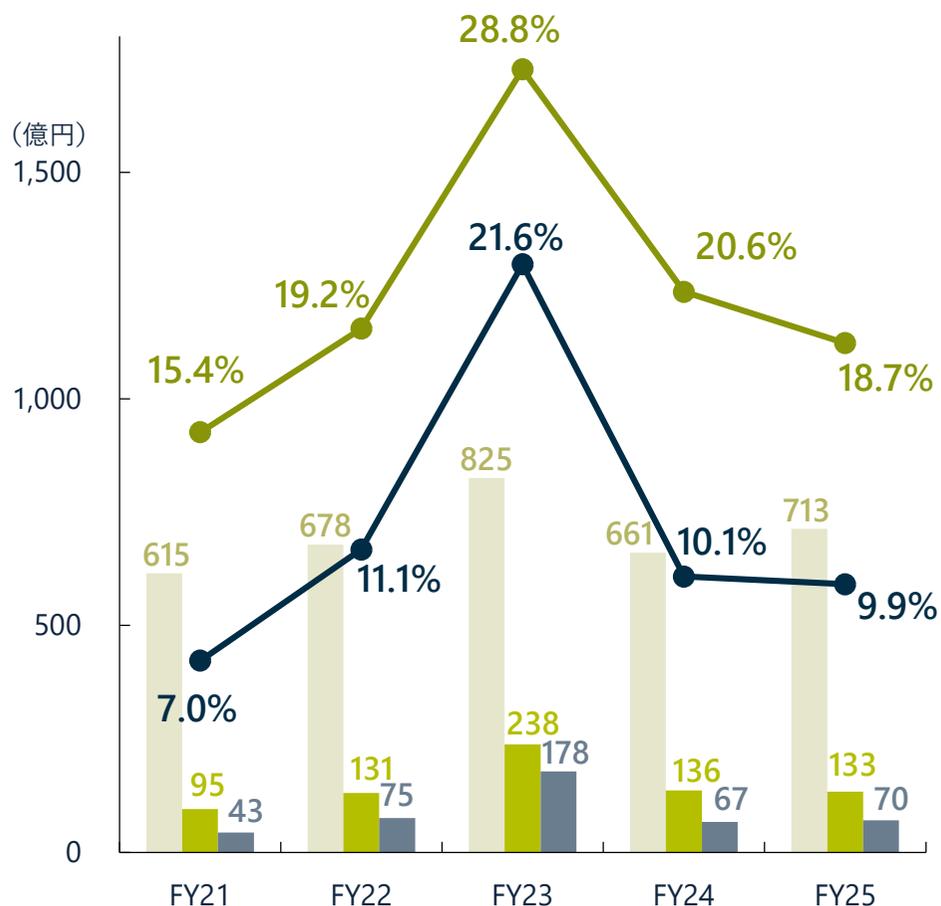
機 械

2-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 売上高は順調に推移。今期完成の大型案件が少ないため前年同期比で利益が減少し、増収減益
- FY25通期 重点現場の工事進捗管理及び設計変更の獲得額向上により、**通期計画達成**を見込む

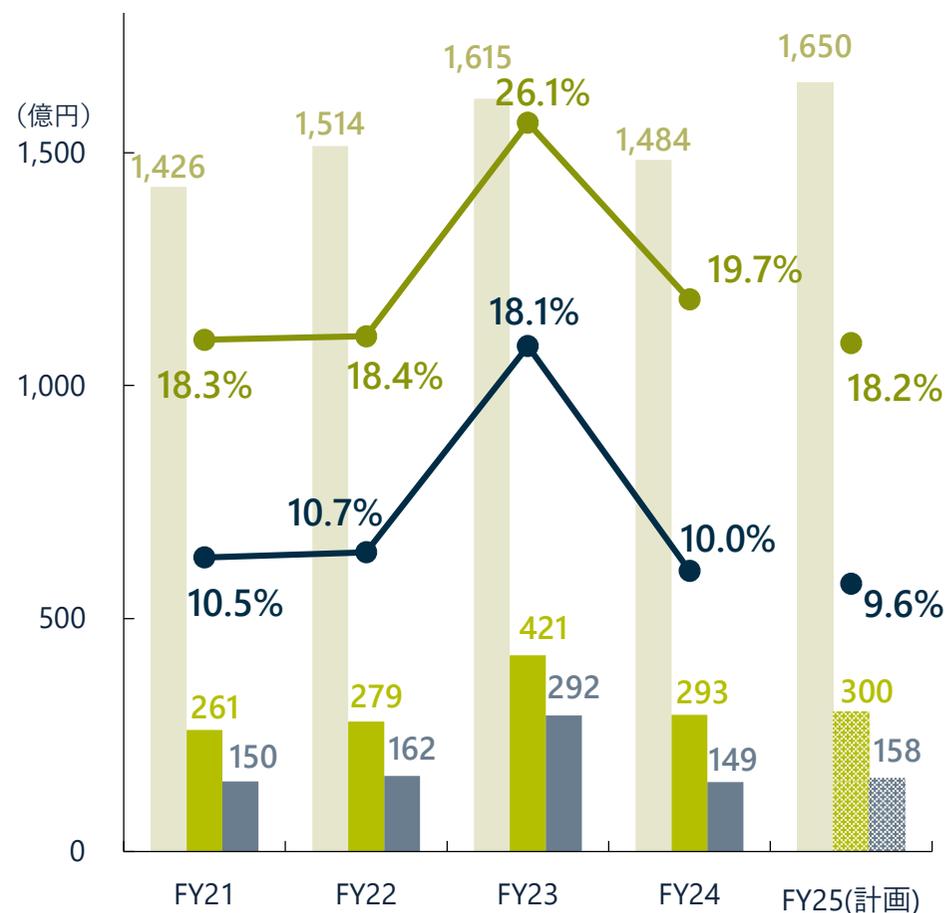
第2四半期

■ 売上高
■ 売上総利益
■ 営業利益
● 売上総利益率_実績
● 営業利益率_実績



通期

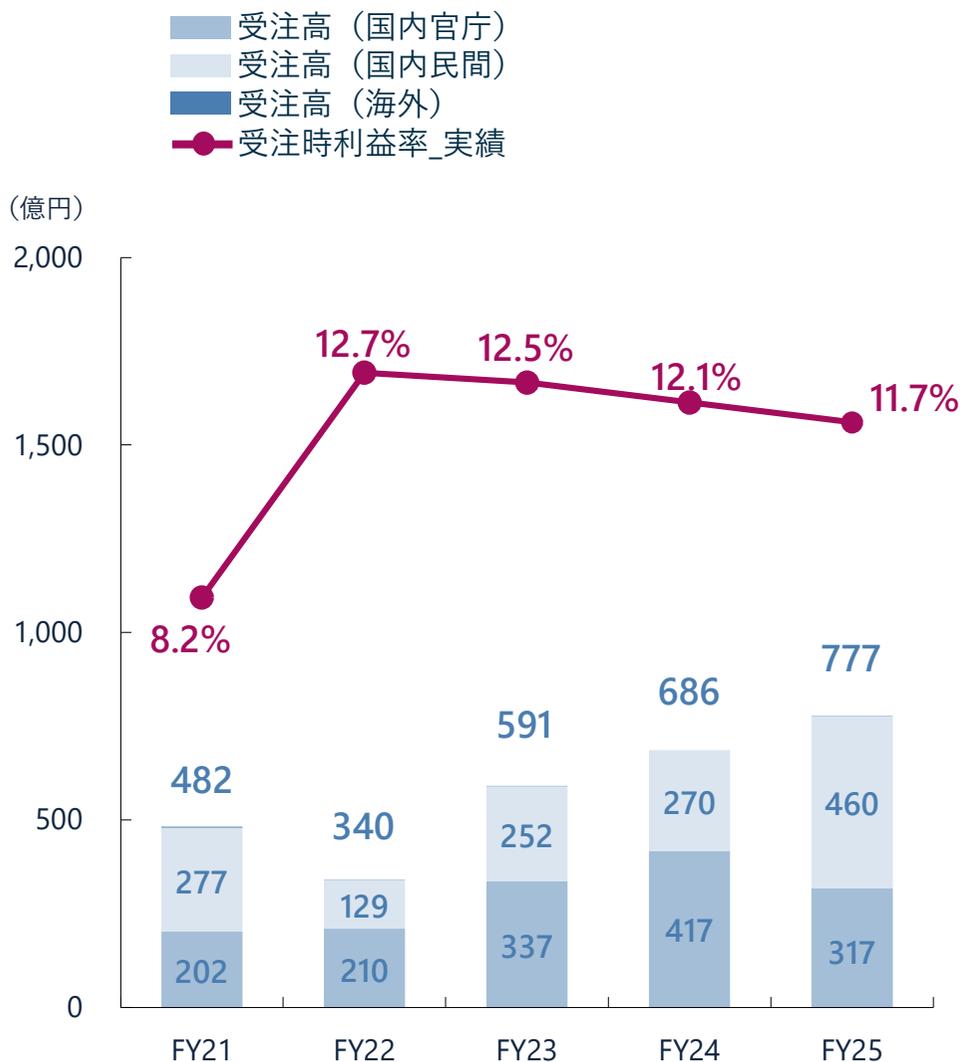
■ 売上高
■ 売上総利益
■ 営業利益
● 売上総利益率_実績
● 営業利益率_実績



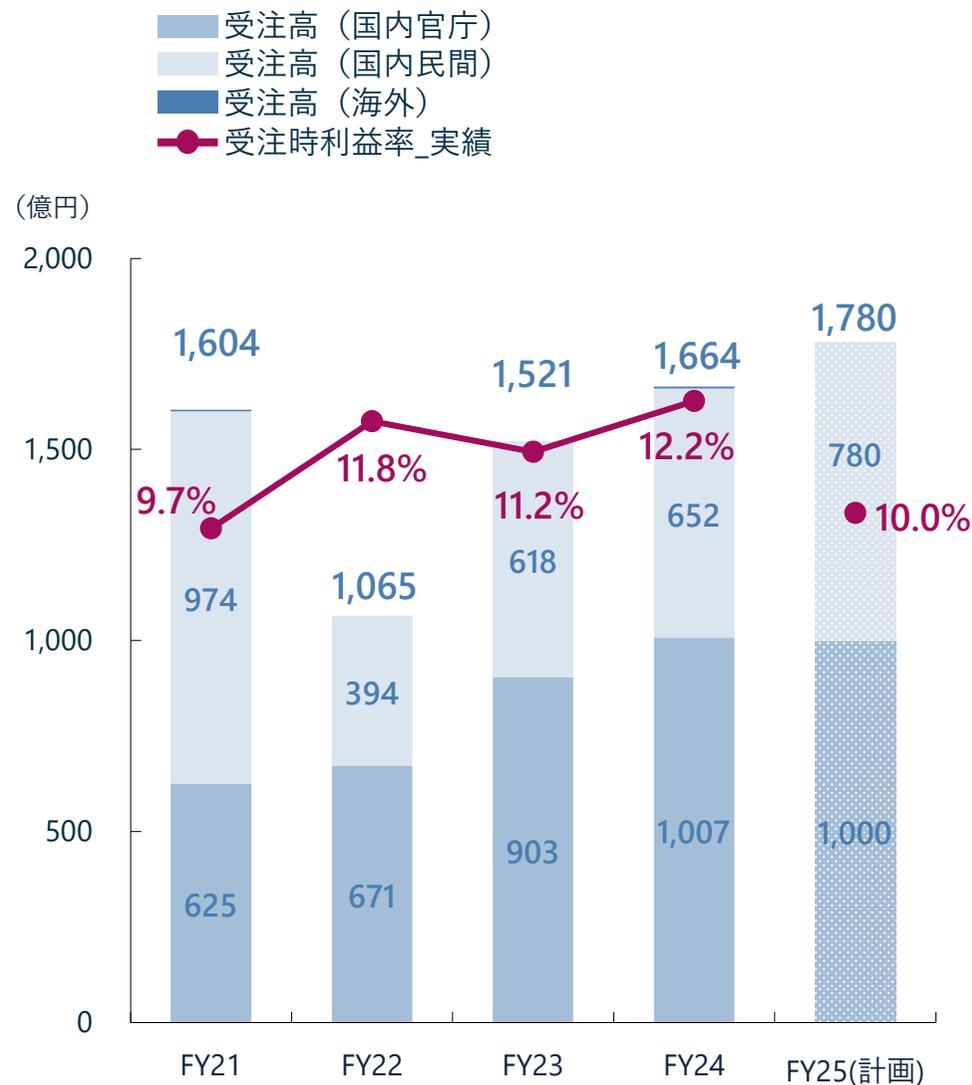
2-2. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 2Q 受注は堅調に進捗。大型特命工事を始め民間工事が牽引し前年同期比で増加
- FY25 通期 官民共に下期に集中する大型案件の受注と設計変更のさらなる獲得を目指し、**通期計画達成**を見込む

第2四半期



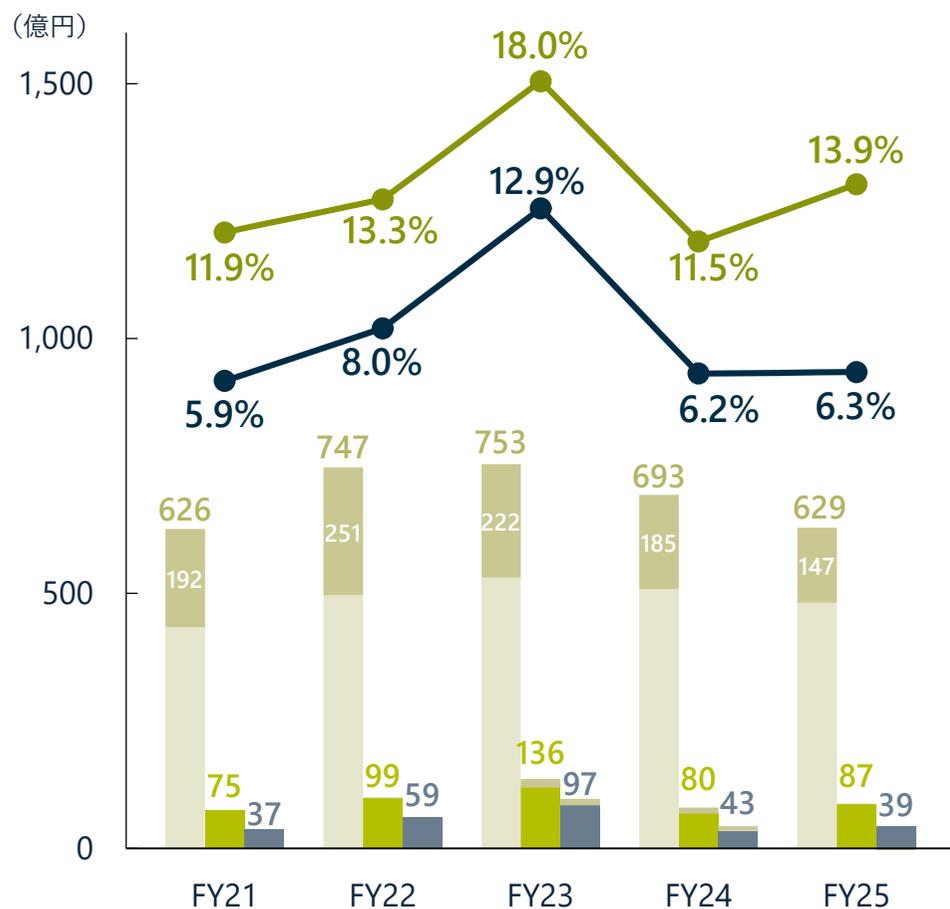
通期



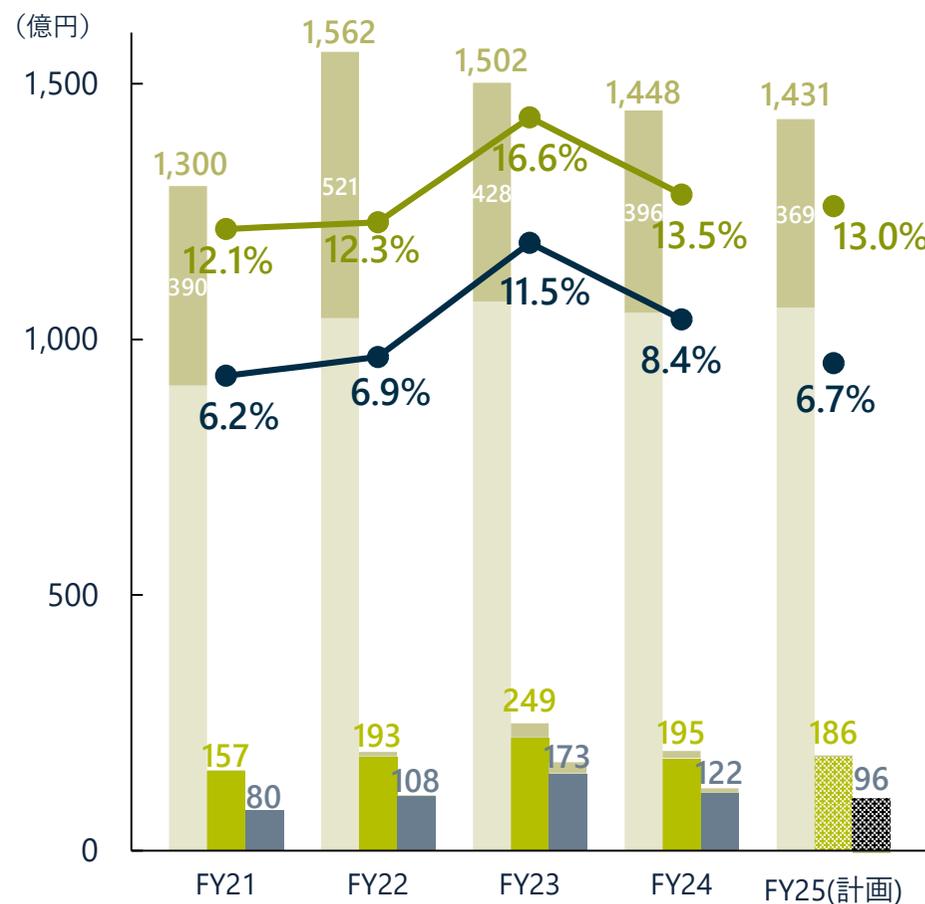
2-4. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 期末に向けて進捗する案件が多いため、2Q売上高は減少。**竣工工事の採算性向上**により、前年同期比で減収増益
- FY25通期 手持案件の工事進捗管理と設計変更獲得、ならびに新規案件の早期着手により**通期計画達成を見込む**

第2四半期



通期

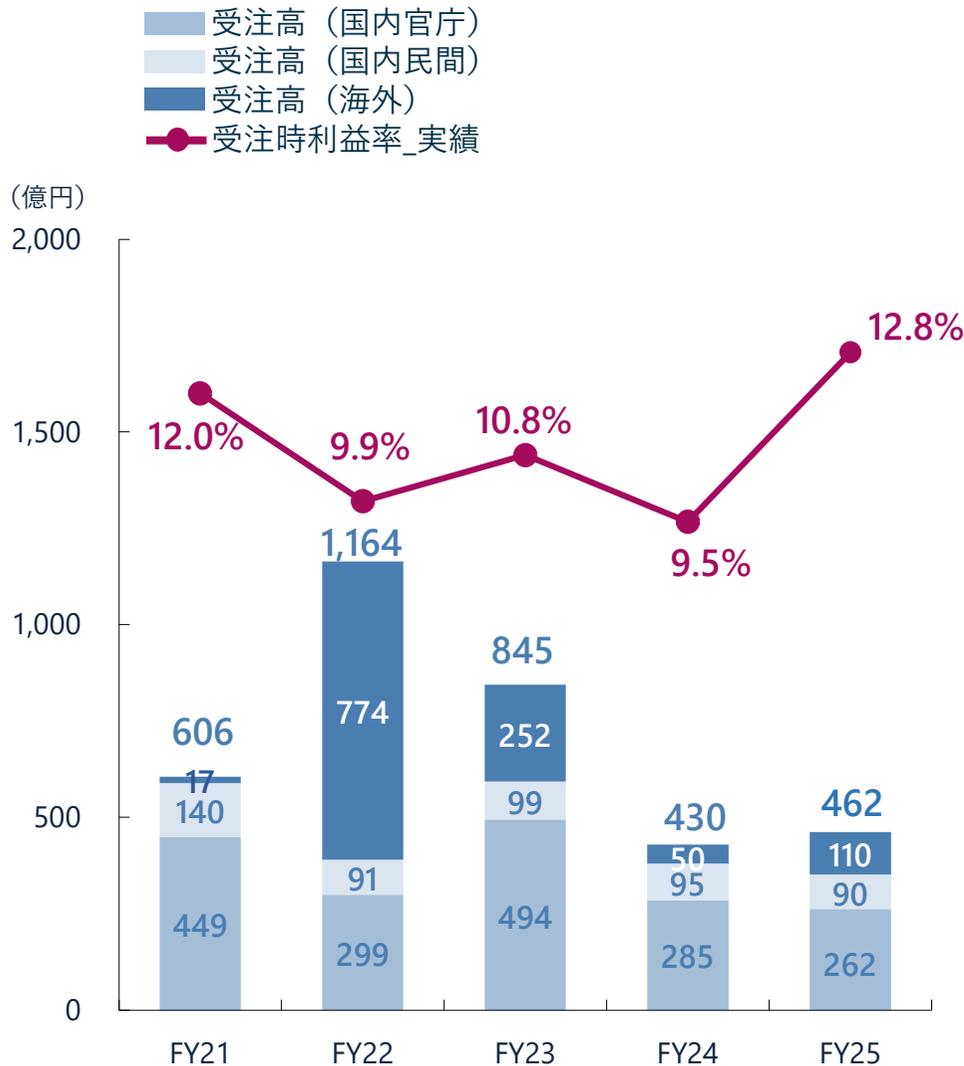


※売上高 (海外) は、三井住友建設個別における海外売上高と海外現法における売上高の合算

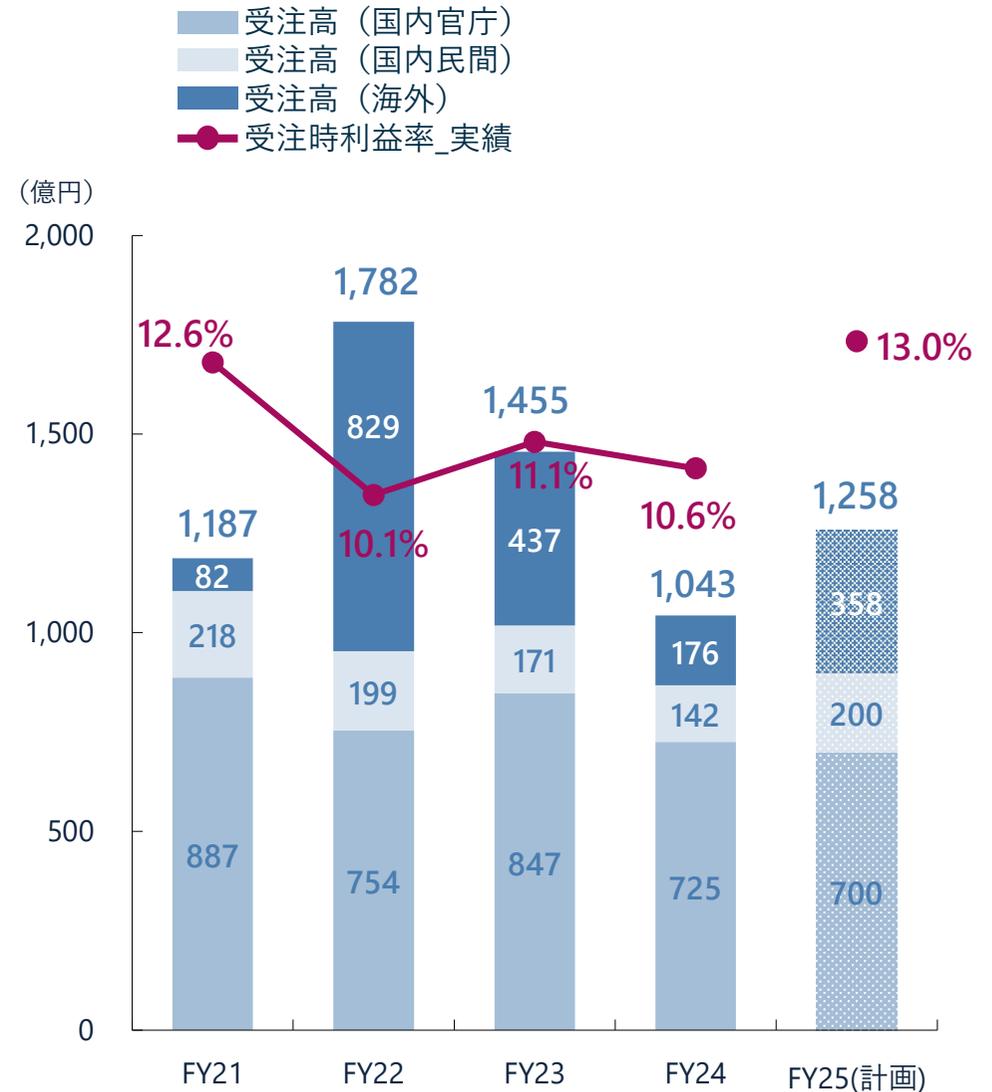
2-5. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 2Q 国内は前年同期比で減少となったが、海外は前年同期比で増加。**採算性の高い工事の受注**により受注時利益率は改善
- FY25 通期 大型案件の獲得により通期計画達成を見込む

第2四半期



通期

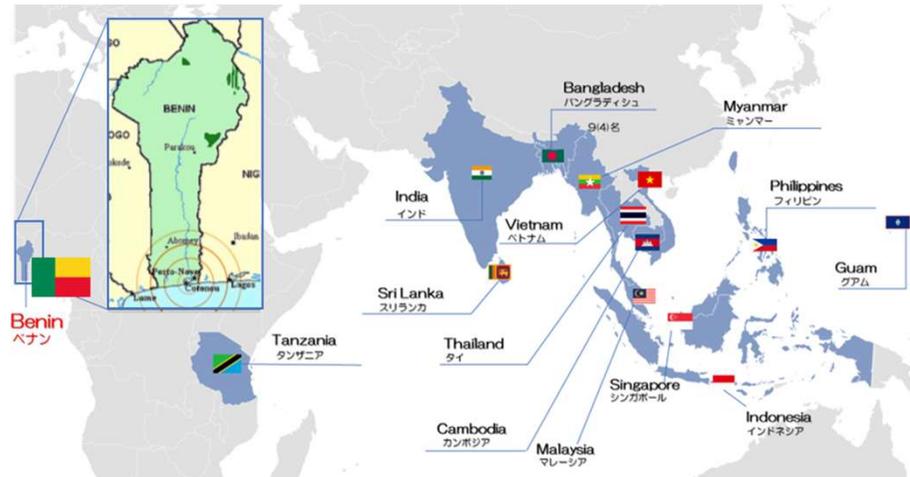


※受注時利益率の実績は国内土木工事の実績

2-6. トピックス「ベナン共和国におけるODA工事」「更新工事への継続的な取り組み」

ベナン共和国におけるODA工事を受注

～同国および西アフリカにおける物流改善と成長産業の強化に寄与～
 新市場への進出：西アフリカ初のプロジェクト
 ✓ 初の西アフリカでの施工案件、アフリカ市場展開の布石として注目



SMC海外進出国とベナン工事箇所



現地は信号機などは整備されておらず
朝と夕方には交通渋滞が発生する状況

完成予想図（出典：株式会社アンジェロセック）

発注者：ベナン共和国 インフラ道路・国土開発公社
 (SIRAT ; Société des Infrastructures Routières et de l'Aménagement du Territoire)

工事名	コヌ市バドコ交差点立体交差建設計画
工事概要	延長270mのPC高架橋の建設と平面交差部の改良、信号機の設置
工期	2025年7月～2027年8月（26ヵ月）

NEXCO更新工事への継続的な取り組み



発注者：中日本高速道路株式会社

工事名	東名高速道路（特定更新等）富士IC～清水IC間床版取替工事（2025年度）
工事概要	神沢高架橋（下り線）の床版取替 約1500㎡ 中村高架橋（上下線）八木間高架橋（上り線）の床版打換 約4500㎡ 波多打川橋の塗替塗装約4000㎡ 対面通行規制準備工事あり
工期	2025年8月～2031年12月（65ヵ月）
工事名	東名高速道路（特定更新等）大井松田IC～御殿場IC（左ルート）間鋼橋補強工事（2025年度）
工事概要	成就院橋・諸淵橋・酒匂川橋の鋼桁補強、皆瀬川橋の疲労き裂補修、川音川橋のPC桁補修を行う工事。鋼桁補強 3橋、疲労き裂補修 1橋、PC桁補修 1橋
工期	2025年8月～2029年7月（48ヵ月）

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

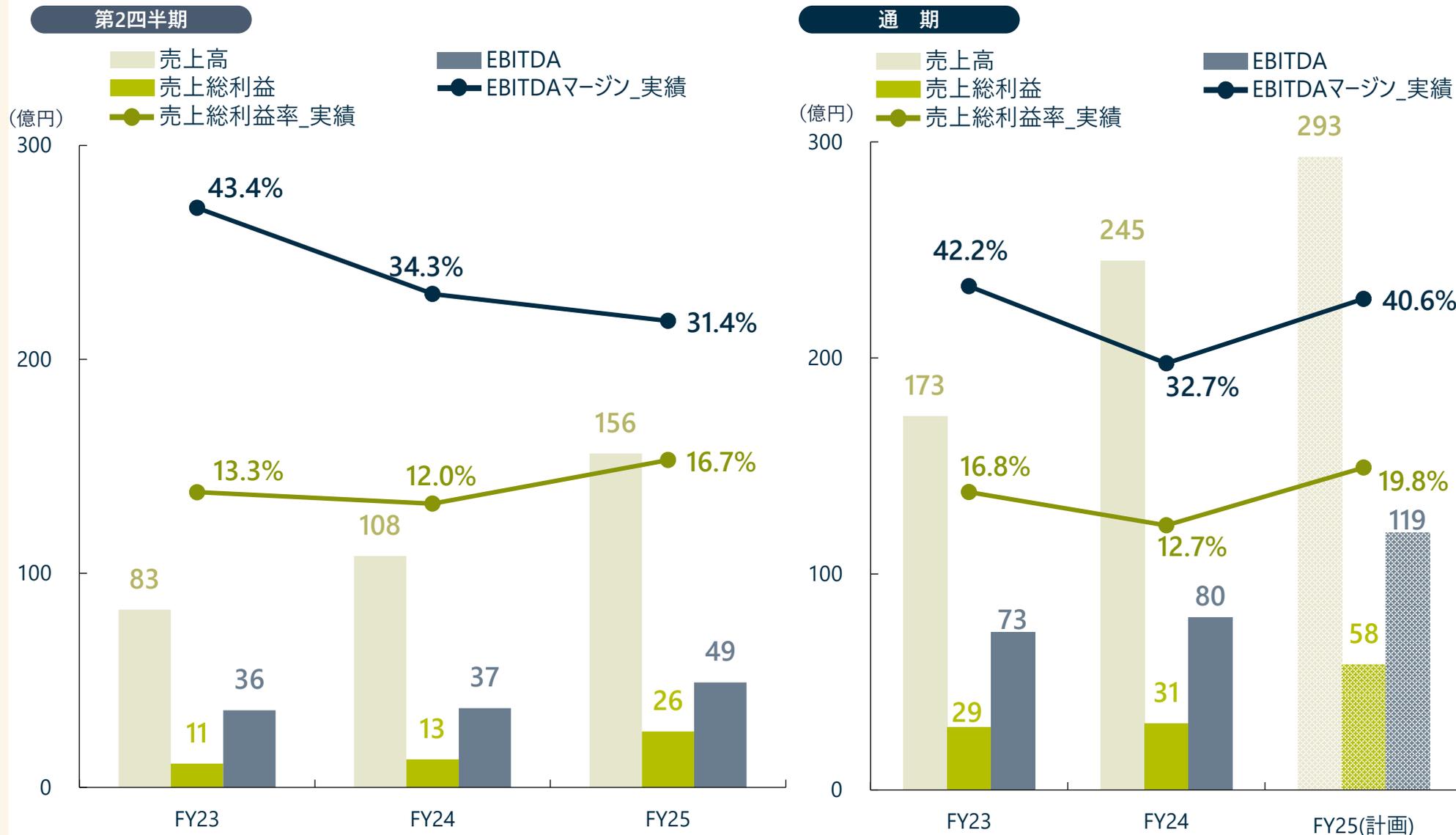
舗 装

前田製作所（連結）

機 械

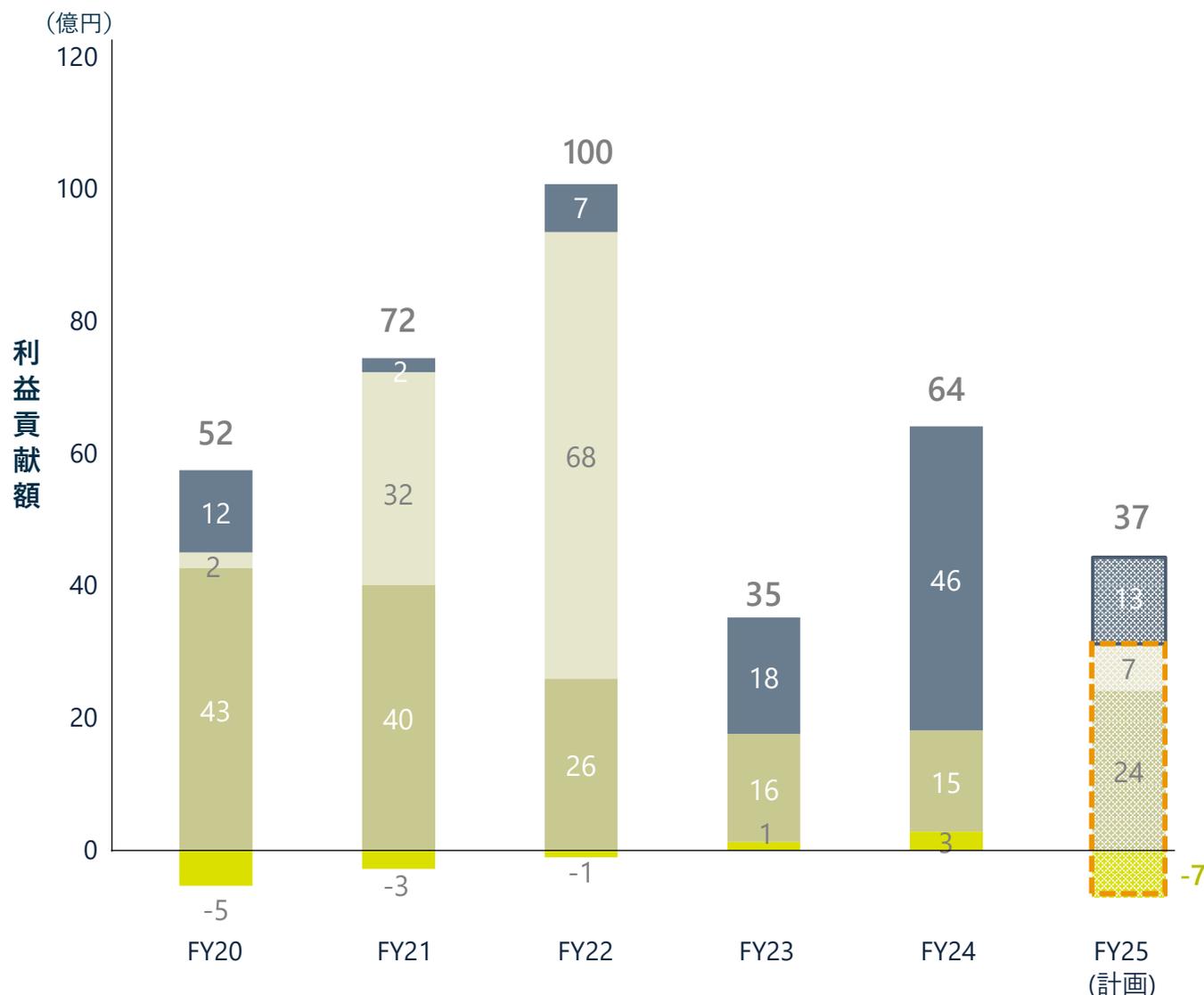
3-1-1. 売上高、売上総利益、EBITDAの推移

- FY25 2Q 愛知道路コンセッション、大阪工業用水コンセッション等のコンセッション事業が順調に進捗し、前年同期比で**増収増益**
- FY25 通期 コンセッション事業の順調な進捗、菰野ヴィラの売却により、**通期計画達成**を見込む



3-1-2. 利益貢献額について（通期）

- FY25 2Q 愛知道路をはじめとした運営中のSPCの**営業利益は順調に推移**している
- FY25 通期 菰野ヴィラに関しては今期中に売却の予定



他セグメントへの利益貢献
 国立競技場や富山アリーナ、川口プール等のEPC*の売上総利益

インフラ運営セグメントへ計上

- 案件の売却**
菰野ヴィラの売却益
- SPC連結子会社の営業利益**
愛知道路、みおつくし工業用水等のSPCの営業利益
- SPC持分法適用会社の営業損失**
愛知アリーナ、国立競技場等のSPCの営業損失を約7億円見込む

※EPC インフラ運営事業に伴う設計・調達・建設工事等の一括請負業務

建築
土木
インフラM/K
インフラJWD
舗装
機械

3-1-3. 主なグループ会社（インフラ運営）のFY25 2Q実績と通期計画

(百万円)

連結子会社 (インフラ運営セグメント)	愛知道路コンセッション(株) ※1			みおつくし工業用水コンセッション(株) ※1			三浦下水道コンセッション(株) ※1		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画
売上高	7,770	7,945	15,809	702	734	1,750	102	95	214
営業利益	938	771	2,256	129	96	114	22	16	18
経常利益	386	247	1,224	123	91	103	19	12	11
当期純利益	348	220	1,121	75	65	66	12	10	8

持分法 適用会社	仙台国際空港(株) ※2			愛知国際展示場(株) ※3		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画
売上高	2,275	2,452	5,049	731	861	1,467
営業利益	220	202	423	241	311	327
経常利益	223	208	428	250	319	329
当期純利益	183	249	498	165	213	222

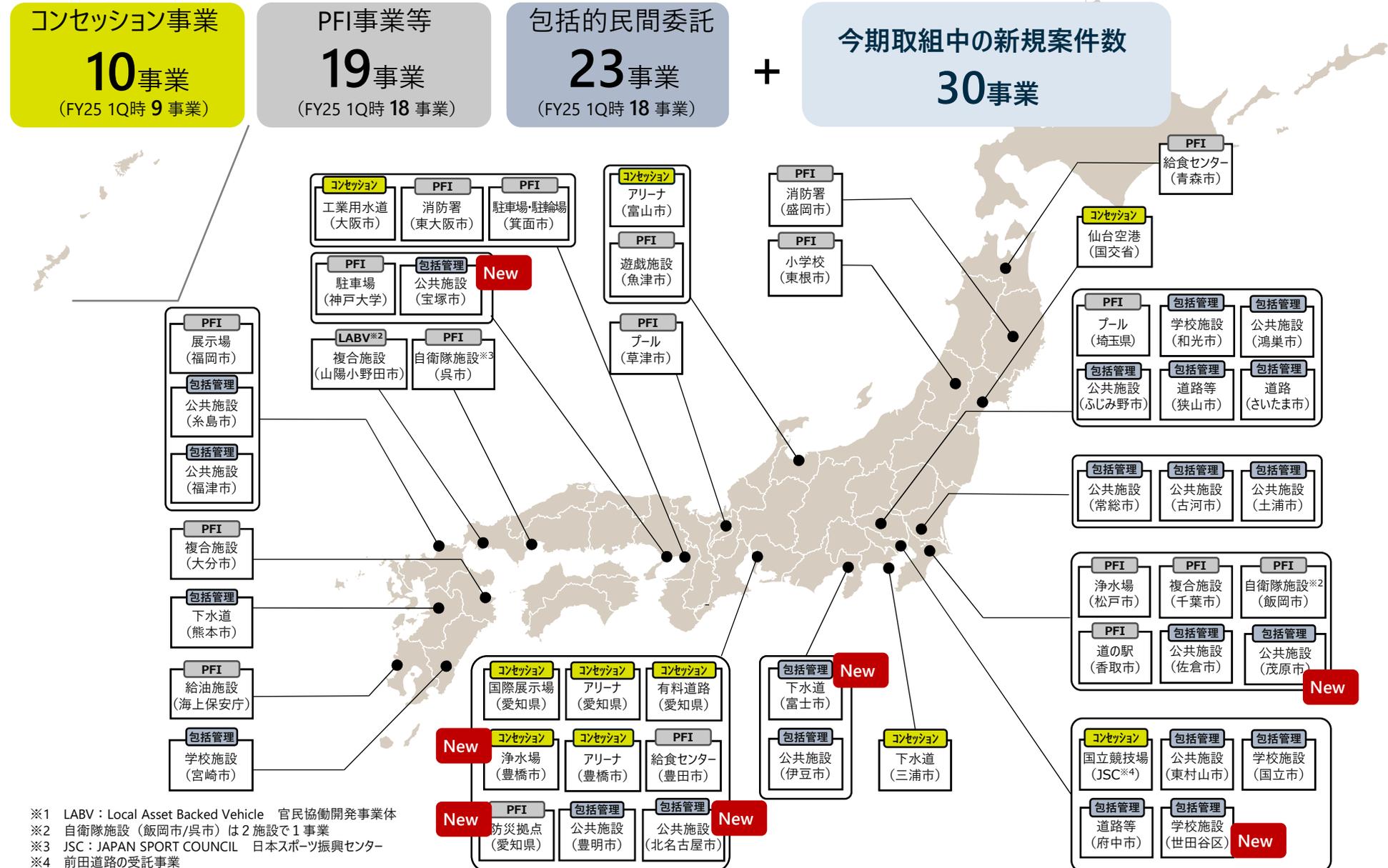
※1 日本基準・単体

※2 日本基準・単体、当社出資持分：30%

※3 日本基準・単体、当社出資持分：49%

3-1-4. 国内の主なインフラ運営事業

- 様々なインフラサービスにおける確かな実績
- 実績に裏付けされた豊富な運営ノウハウを今後の案件獲得に活かす



※1 LABV : Local Asset Backed Vehicle 官民協働開発事業体
 ※2 自衛隊施設 (飯岡市/呉市) は 2 施設で 1 事業
 ※3 JSC : JAPAN SPORT COUNCIL 日本スポーツ振興センター
 ※4 前田道路の受託事業

建築
土木
インフラM/K
インフラJ/W/D
舗装
機械

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

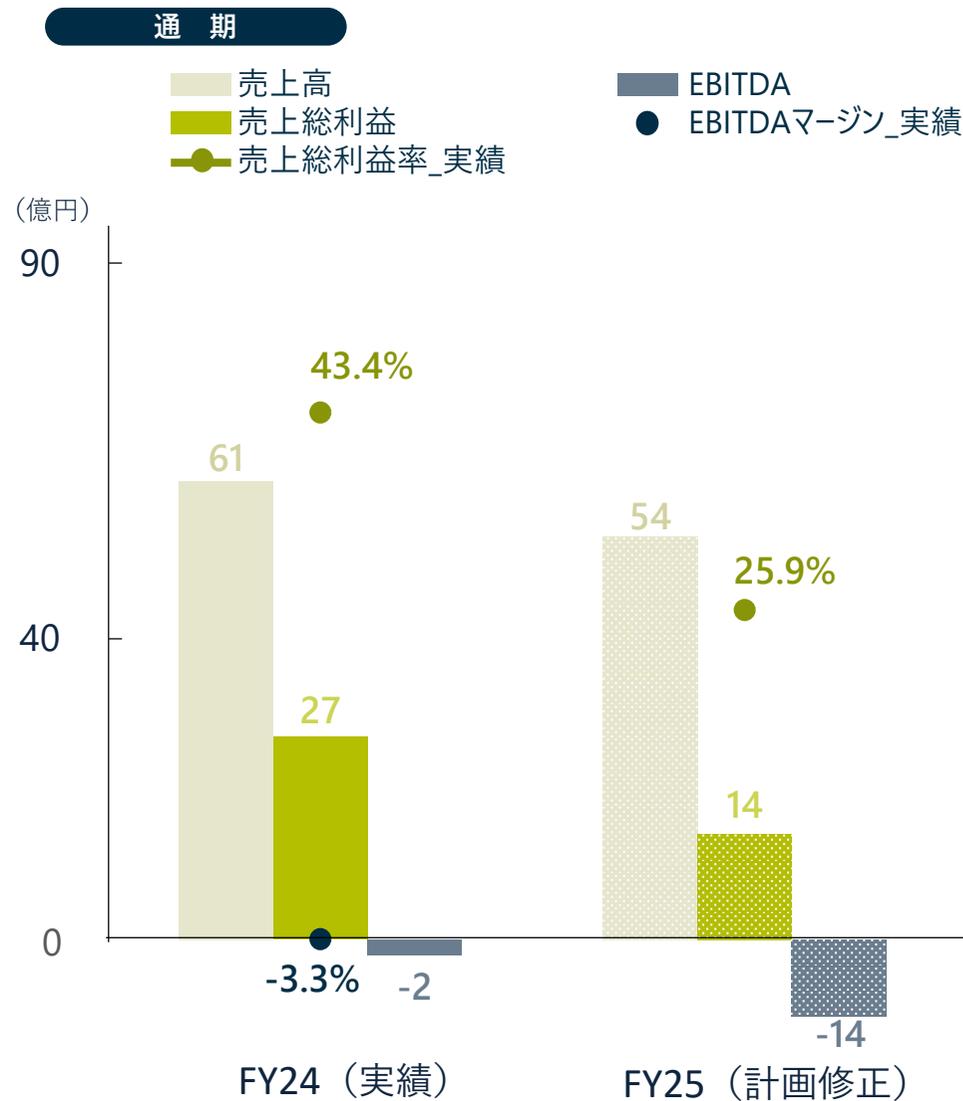
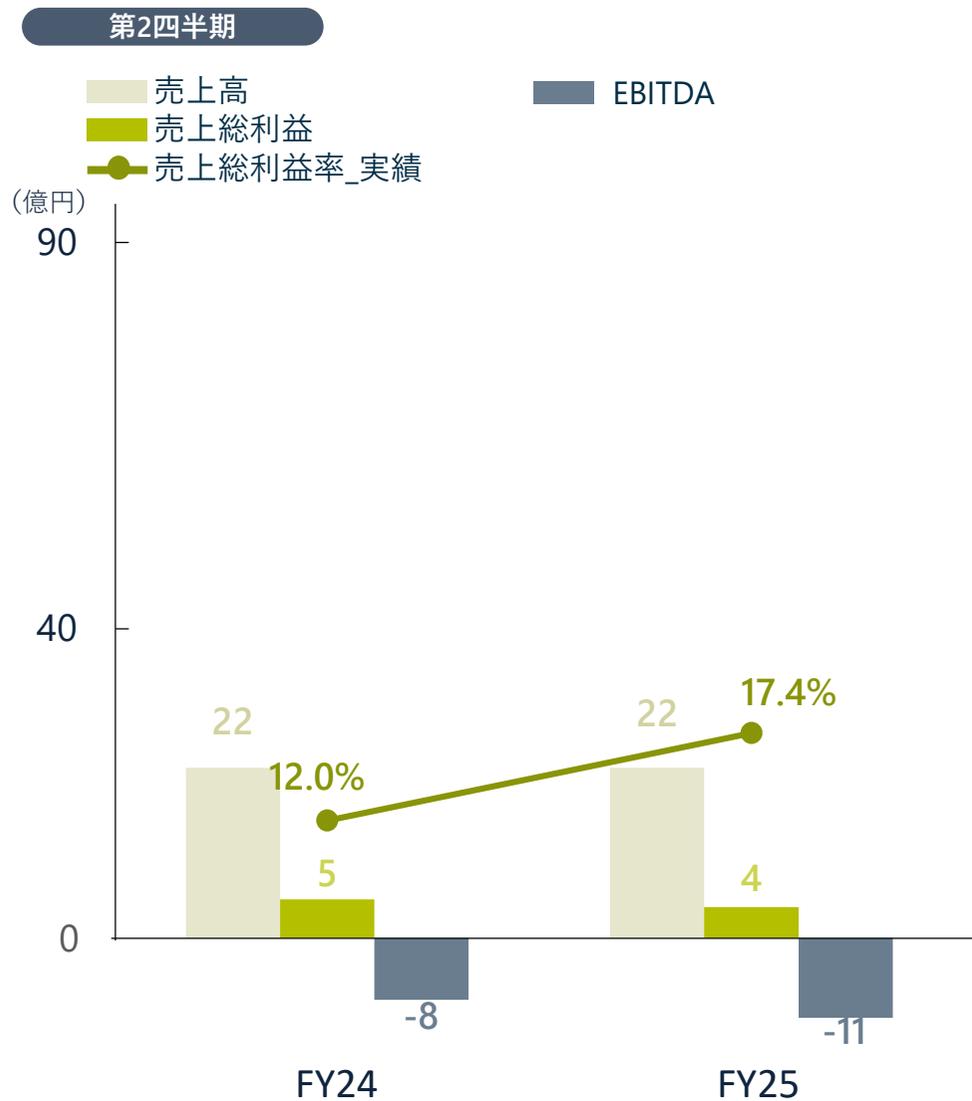
舗 装

前田製作所（連結）

機 械

3-2-1. 売上高、売上総利益、EBITDAの推移

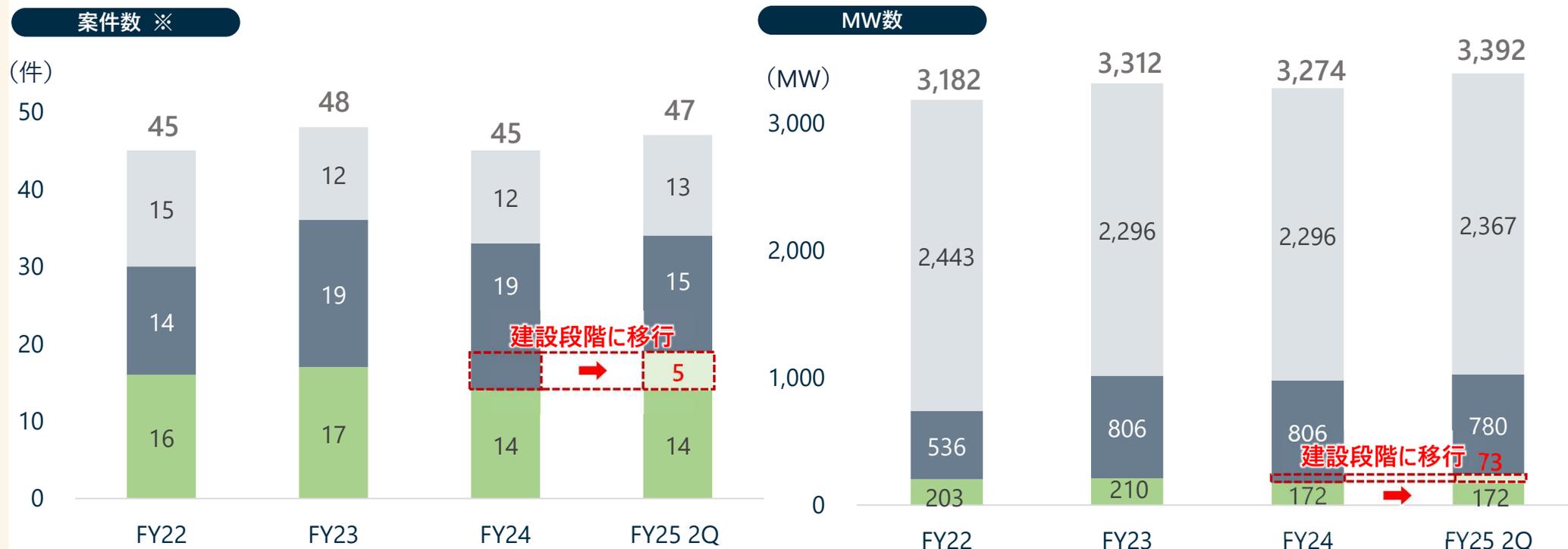
- FY25 2Q 前年同期比で売上高・売上総利益ともにほぼ横ばい。O & M事業の拡大に向けた人材投資を実施中
- FY25 通期 売却時期の見直しにより案件売却を見送ったため、通期計画を下方修正



建築
土木
インフラM&K
インフラJWD
舗装
機械

3-2-2. 運営中および開発中案件の推移

- 前期末比での新規2案件(117MW)を積み増し
- 1Q・4案件、2Q・1案件の建設工事を開始し、現在5案件の建設工事を実施中



※売却可能性のある案件も含む



参考：日本風力開発(株)HP 風力発電までの流れ：<http://www.jwd.co.jp/business/onshore/>

建築
土木
インフラM&K
インフラJWD
舗装
機械

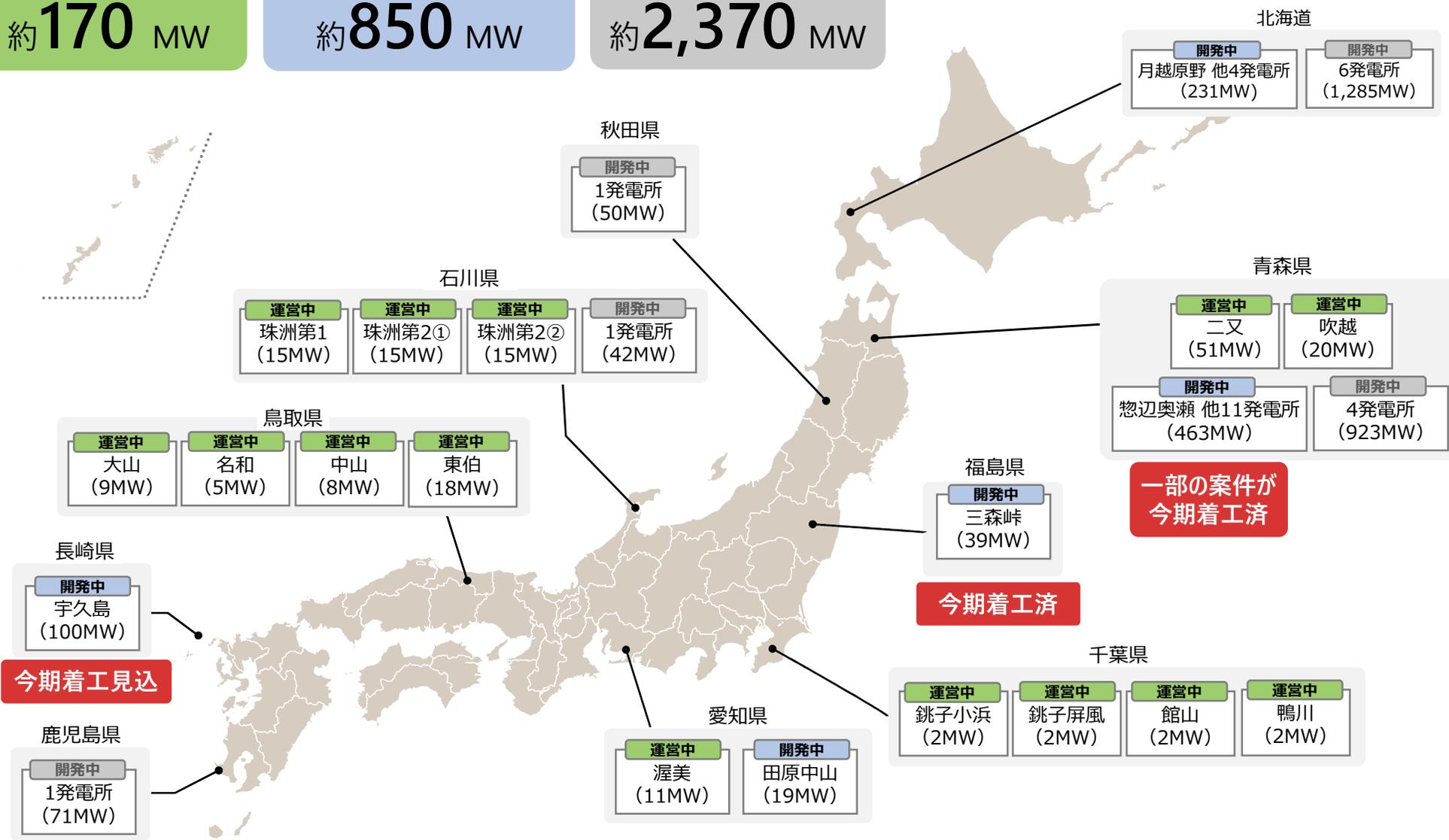
3-2-3. 風力発電事業の取り組み状況

- 開発から運営まで、風力事業のすべてのフェーズを自社グループで対応
- 地域との共生を第一に、常に地域と対話をしながら開発を推進

運営中
約**170** MW

開発中 (FIT/FIP取得済)
約**850** MW

開発中 (入札予定・非FIT/FIP)
約**2,370** MW



一部の案件が
今期着工済

今期着工済

今期着工見込

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

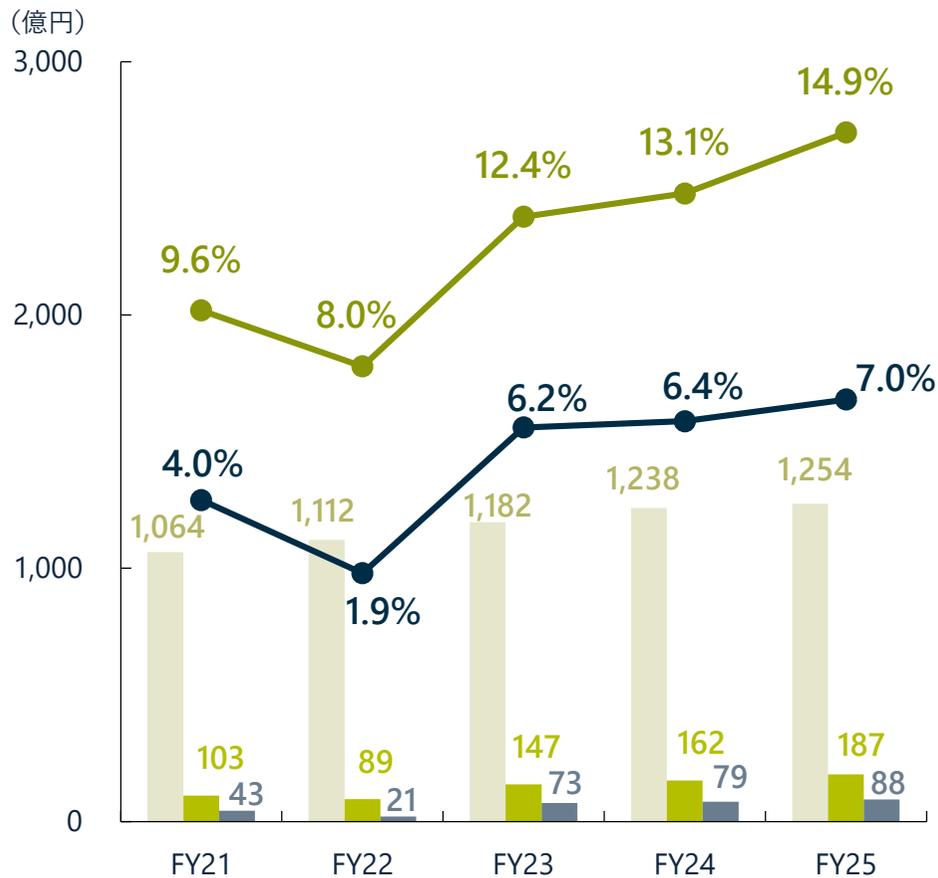
前田製作所（連結）

機 械

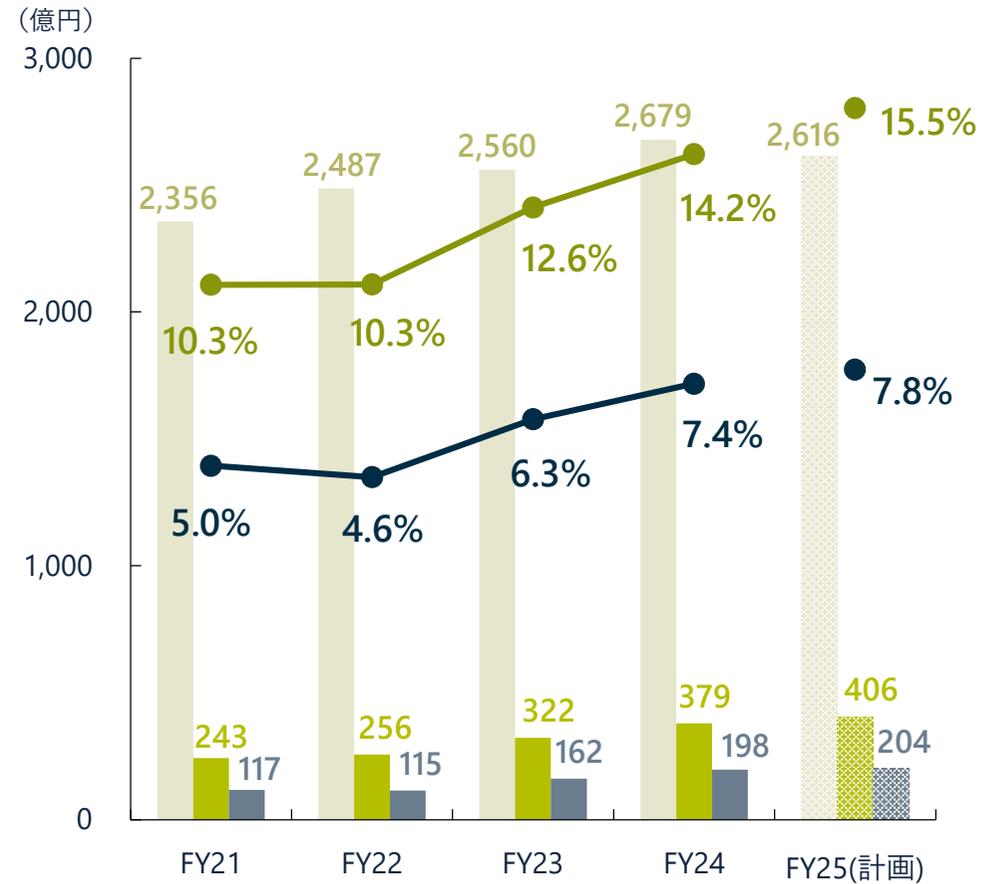
4-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 完全週休2日制を実施しながらも、受注時利益管理の徹底や、適切な価格転嫁により、**前年同期比増収増益**
- FY25 通期 受注時利益率の確保や適正な販売単価の維持により**通期計画の達成**を見込む

第2四半期



通期

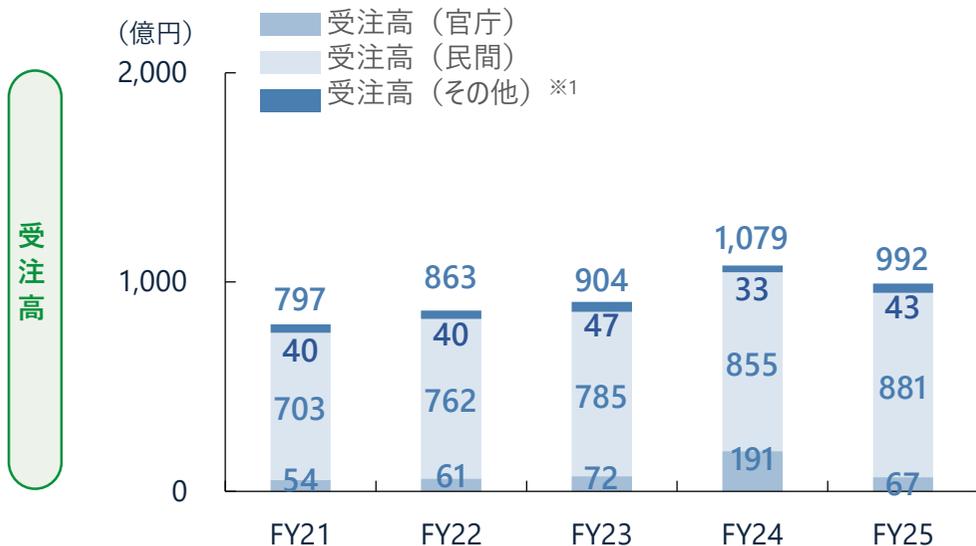


※上記数値は、前田道路の従来連結数値であり、インフラグループ内の連結消去を考慮していない

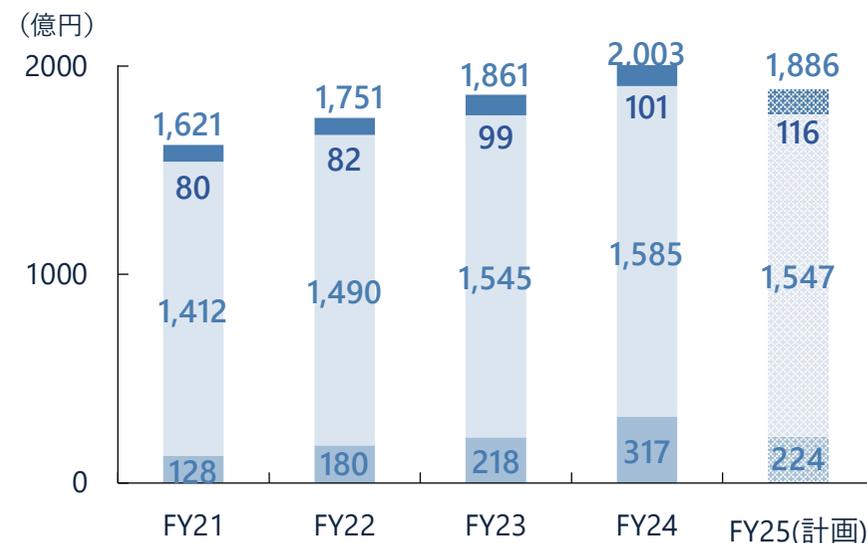
4-2. 【建設事業】受注高、売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 完全週休2日制により売上高は減少するものの、受注時利益率の向上により**前年同期比増益**
- FY25 通期 受注時利益率の確保に加え、受注後の利益向上を図り、**通期計画の達成**を見込む

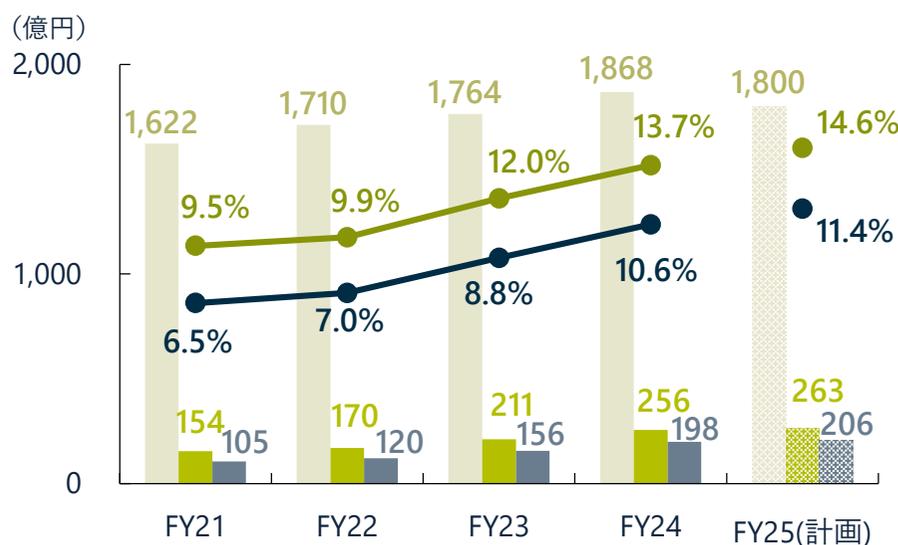
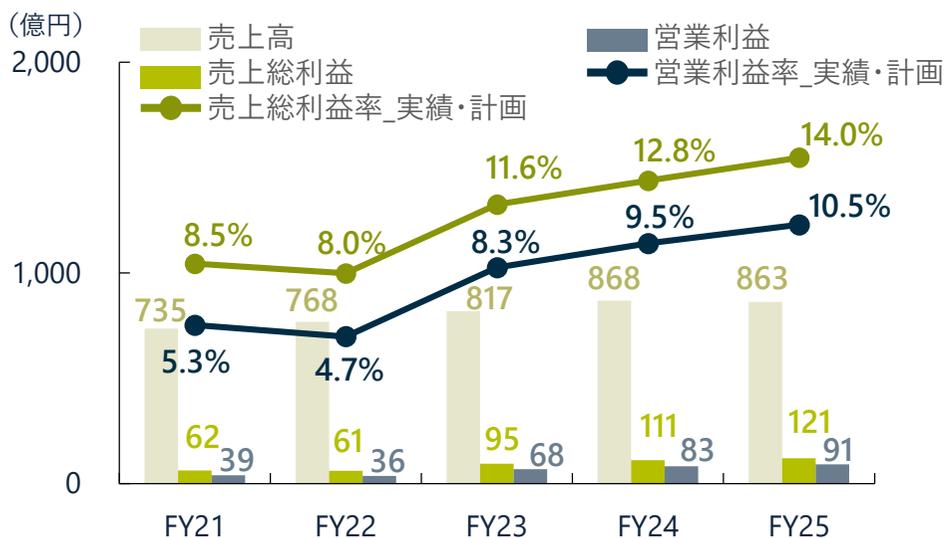
第2四半期



通期



売上高・売上総利益・営業利益 ※1



※上記数値は、従来の前田道路の連結数値であり、インフラグループ内の連結消去を考慮していない

※1 その他：関連会社の受注高（主に官庁工事）及びセグメント内取引消去高

建築

土木

インフラM/K

インフラJWD

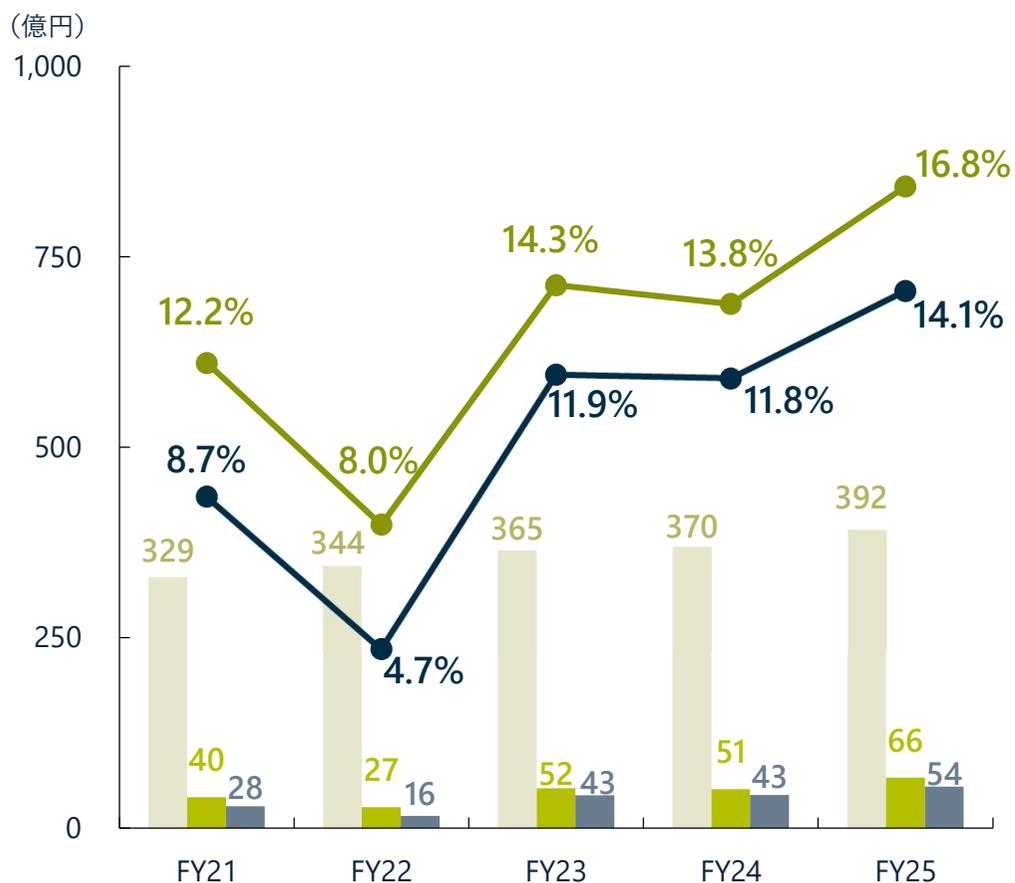
舗装

機械

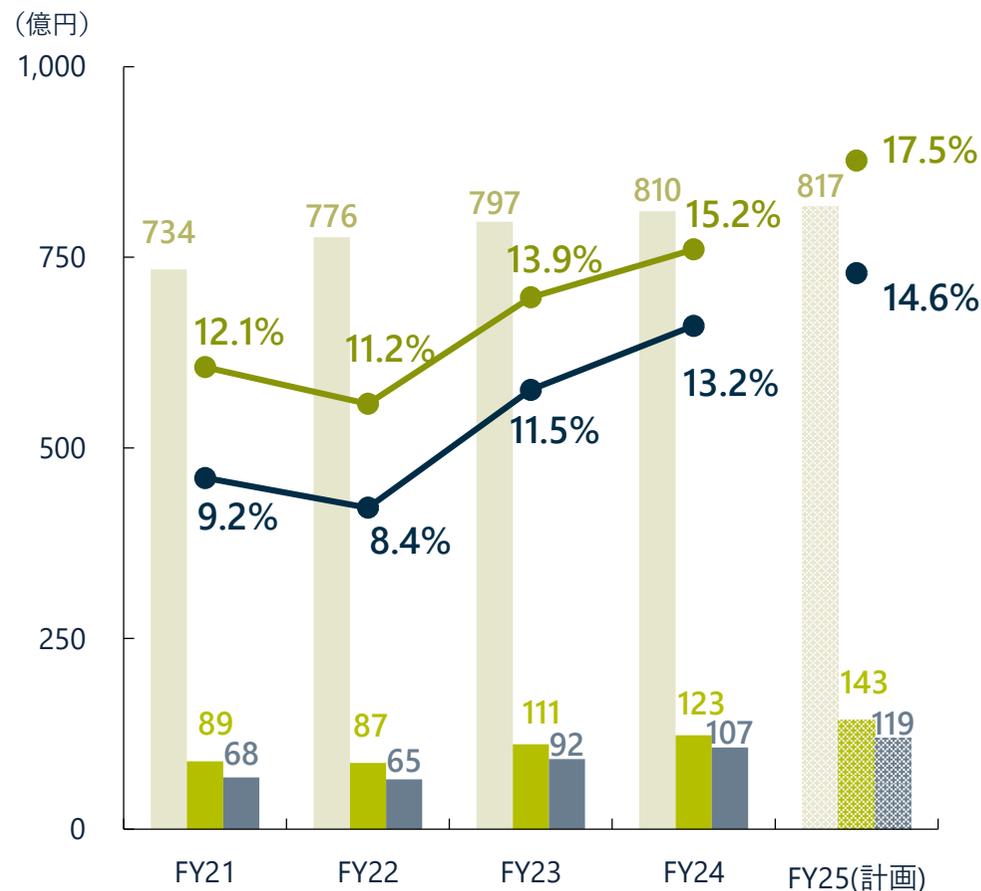
4-3. 【製造販売事業】売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 前期に実施した価格転嫁の進捗と原材料費の落ち着きにより、**前年同期比増収増益**
- FY25 通期 外部環境に応じた適切な販売単価の維持により、**通期計画の達成**を見込む

第2四半期



通 期※



※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

4-4. トピックス「第37回出雲駅伝・冠協賛企業」として協力

- ✓ 前田道路は「第37回出雲駅伝」において、冠協賛企業として協力
- ✓ 今後もスポーツ振興や地域社会との連携を通じ、持続可能な社会づくりに貢献

出雲駅伝の主な取り組み

- 大会当日、うちわや水（オリジナルノベルティ）などを特設ブースにて配布
- HPに出雲駅伝特設サイトを開設



maedaroad water



maedaroad uchiwa



前田道路

IZUMO EXHIBEN

出雲駅伝

出雲全日本大学選抜駅伝競走

フジテレビ系全国『生中継』◎13:00▶15:25
第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走

2025
10.13

スポーツの日

札幌学院大学 / 北海道大学 / 東北大学選抜 / 青山学院大学 / 駒澤大学
高麗学院大学 / 早稲田大学 / 中央大学 / 城西大学 / 創価大学 / 東京国際大学
東洋大学 / 帝京大学 / 信州大学 / 新潟大学 / 皇學館大学 / 京都産業大学
関西大学 / 環太平洋大学 / 志願館大学 / アイビーリーグ選抜 / 中国四国学連選抜

森 / 公益社団法人日本学生陸上競技連合・出雲市 賛 / 前田道路株式会社

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

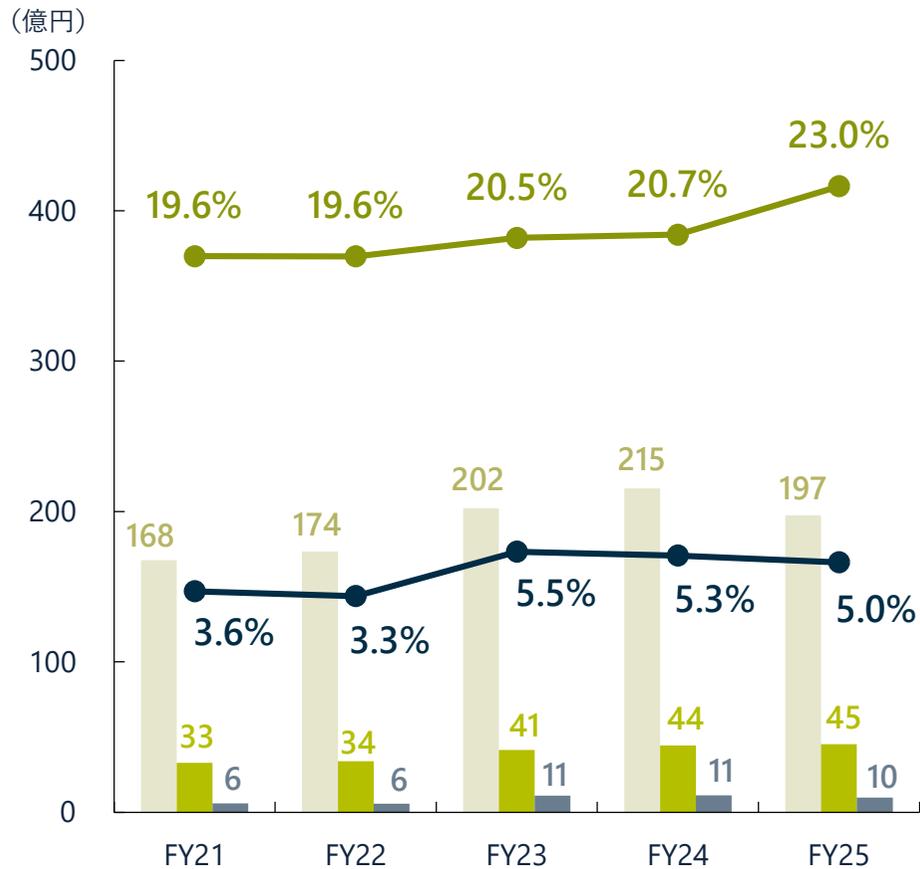
機 械

5-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 2Q 受注減少や一部商品の商流変更により売上高は減少したが、価格の適正化や生産の効率化により、前年同期比で減収増益
- FY25 通期 高付加価値製品の販売拡大、環境商品を中心としたレンタル事業の拡大により、**通期計画の達成**を見込む

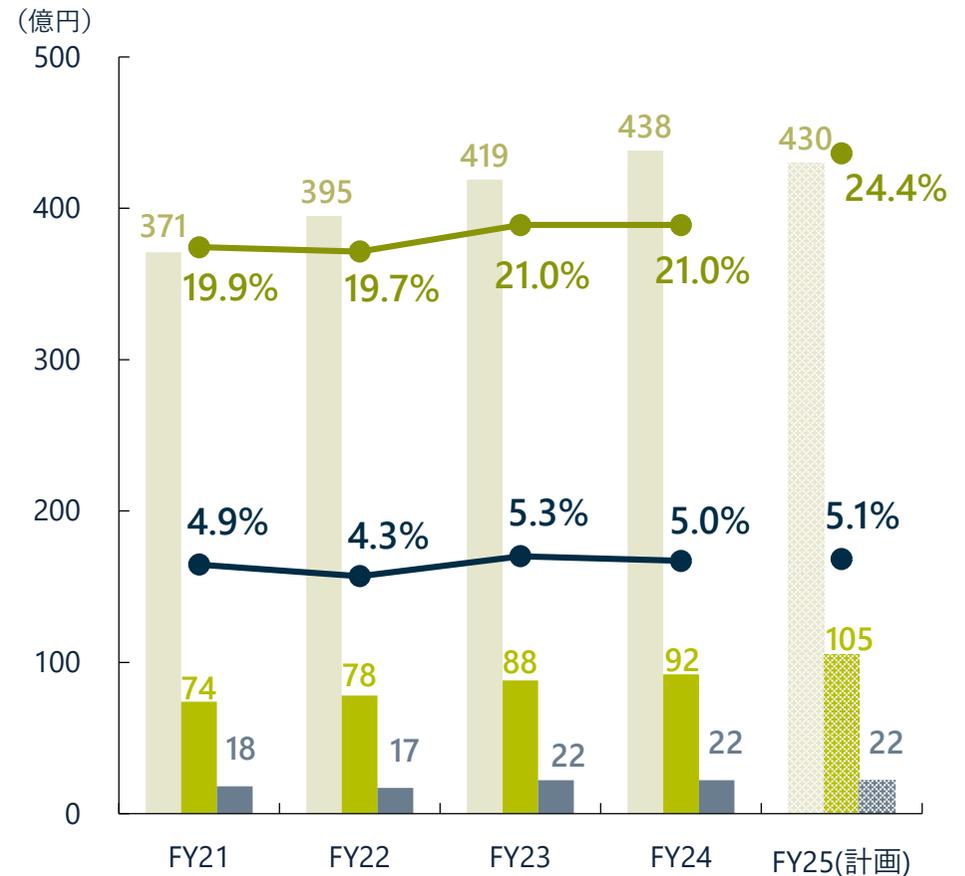
第2四半期

■ 売上高
■ 売上総利益
● 売上総利益率_実績
■ 営業利益
● 営業利益率_実績



通期

■ 売上高
■ 売上総利益
● 売上総利益率_実績・計画
■ 営業利益
● 営業利益率_実績・計画



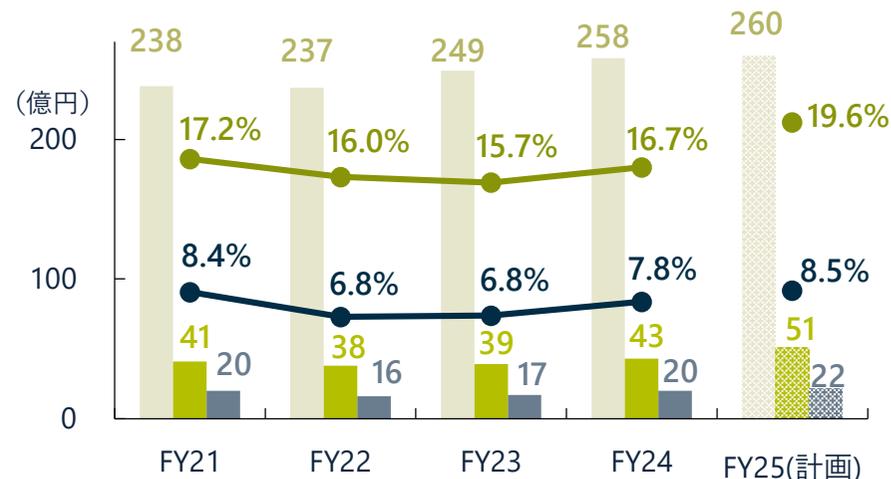
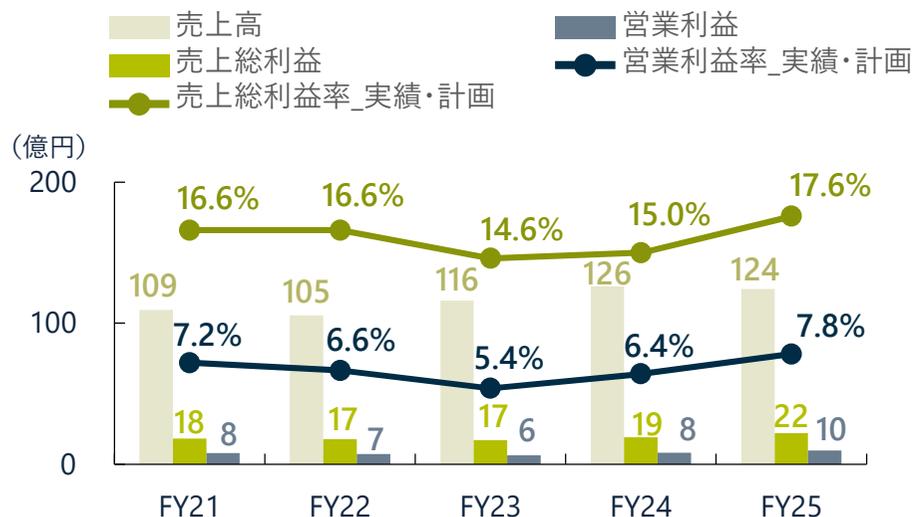
5-2. 【建設機械※1、産業・鉄構機械等※2】売上高、売上総利益、営業利益の推移※3

- FY25 2Q 建設機械においては、受注減少により売上高は減少したが、生産の効率化により売上総利益率は改善
産業・鉄構機械等においては、一部産機商品の商流変更の影響で減収減益
- FY25 通期 高付加価値製品の販売拡大、環境商品を中心としたレンタル事業の拡大により、通期計画の達成を見込む

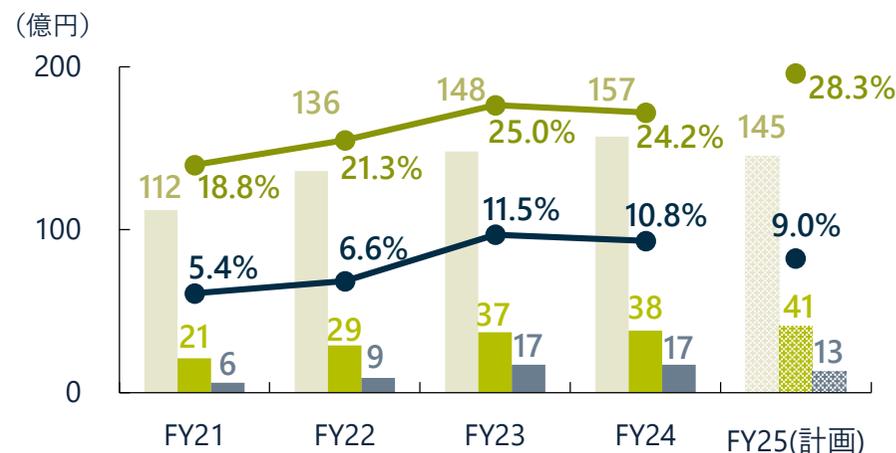
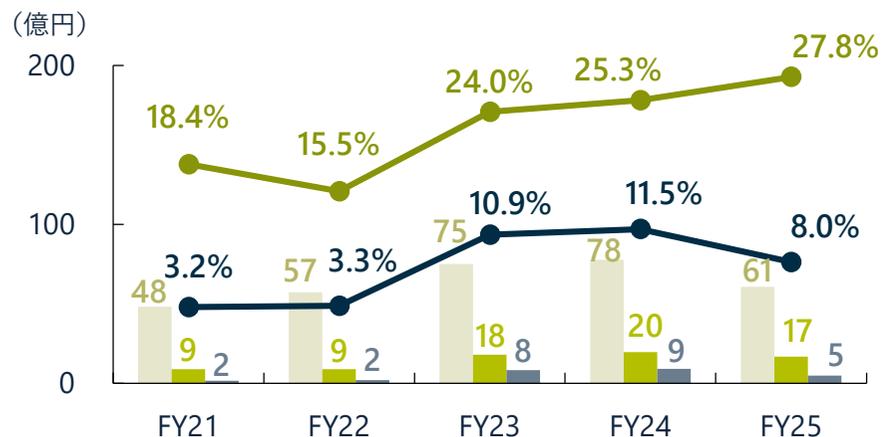
第2四半期

通期

建設機械
※1



産業・鉄構機械等
※2



※1 コマツ製品の販売・サービス・レンタルを主体とした事業 ※2 クレーン等自社製品の設計・製造・販売を主体とした事業 ※3 機械セグメントの内、主要事業である建設機械事業、産業・鉄構機械等事業の数値
※4 セグメント毎の営業利益算出時に本支店の一般管理費は控除していない

5-3. トピックス「建機・フォークリフト事業の拡大」

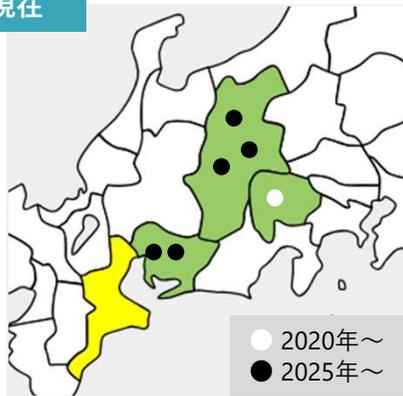
コマツからの事業移管により、2026年4月から三重エリアで建設機械・フォークリフト事業を拡大

- POINT**
- ・三重県全体の一括運営による事業効率の向上と利益改善
 - ・ブランド力の拡大による収益向上

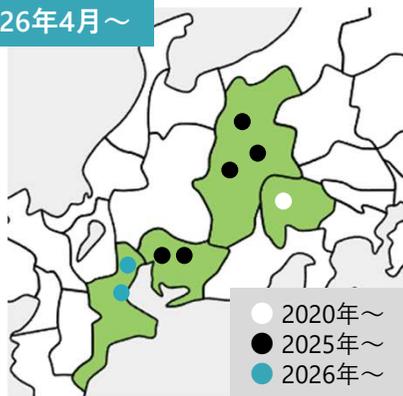


リフト事業拠点

現在



2026年4月～



KCSJ :コマツカスタマーサポート

三重県内のコマツ事業は現在、前田製作所4拠点とKCSJ4拠点であり、移管後は、前田製作所が8拠点となる

		現状	事業移管後
三重県	建機	北部で事業	三重県全域
	リフト	事業展開無し	三重県全域

FY25 2Q実績とFY25通期計画

1. 前田建設【連結】 FY25 2Q実績と通期計画

(億円)

52

		FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	2Q 進捗率
売上高		2,358	2,681	323	6,030	44.5%
建築	計	1,567	1,776	209	3,990	44.5%
	国内	1,508	1,734	226	-	-%
	海外	59	42	△17	-	-%
土木	計	670	737	67	1,712	43.0%
	国内	669	737	68	-	-%
	海外	1	0	△1	-	-%
インフラ運営		108	156	48	297	52.5%
その他		13	12	△1	31	38.7%
売上総利益		268 (11.4%)	370 (13.8%)	102	822 (13.6%)	45.0%
建築	計	118 (7.5%)	198 (11.1%)	80	439 (11.0%)	45.1%
	国内	113 (7.5%)	195 (11.2%)	82	- (-%)	-%
	海外	5 (8.5%)	3 (7.1%)	△2	- (-%)	-%
土木	計	135 (20.1%)	143 (19.4%)	8	311 (18.2%)	46.0%
	国内	135 (20.2%)	143 (19.4%)	8	- (-%)	-%
	海外	0 (-%)	0 (-%)	0	- (-%)	-%
インフラ運営		13 (12.2%)	27 (17.1%)	14	58 (19.5%)	46.6%
その他		2 (13.9%)	3 (21.5%)	1	14 (45.2%)	21.4%
一般管理費		206 (8.7%)	198 (7.4%)	△8	408 (6.8%)	48.5%
営業利益		62 (2.6%)	172 (6.4%)	110	414 (6.9%)	41.5%
経常利益		71 (3.0%)	170 (6.3%)	99	552 (9.2%)	30.8%
当期純利益		48 (2.1%)	176 (6.6%)	128	662 (11.0%)	26.6%

2. 前田道路【連結】 FY25 2Q実績と通期計画

(億円)

	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	2Q 進捗率
売上高	1,238	1,254	16	2,616	48.0%
建設事業	868	863	△5	1,800	47.9%
製造販売	370	392	22	817	48.0%
売上総利益	162 (13.1%)	187 (14.9%)	25	406 (15.5%)	46.0%
建設事業	111 (12.8%)	121 (14.0%)	10	263 (14.6%)	46.0%
製造販売	51 (13.8%)	66 (16.8%)	15	143 (17.5%)	46.1%
一般管理費	83 (6.7%)	99 (7.9%)	16	202 (7.7%)	48.9%
営業利益	79 (6.4%)	88 (7.0%)	9	204 (7.8%)	43.1%
経常利益	80 (6.5%)	90 (7.2%)	10	207 (7.9%)	43.5%
当期純利益	53 (4.3%)	63 (5.0%)	10	137 (5.2%)	45.6%

3. 前田製作所【連結】 FY25 2Q実績と通期計画

(億円)

54

	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	2Q 進捗率
売上高	215	197	△18	430	45.8%
建設機械	126	124	△2	260	47.7%
産業・鉄構機械等	78	61	△15	145	42.1%
介護用品・その他	12	13	1	25	52.0%
売上総利益	44 (20.7%)	45 (23.0%)	1	105 (24.4%)	42.9%
建設機械	19 (15.1%)	22 (17.7%)	3	51 (19.6%)	43.1%
産業・鉄構機械等	20 (25.6%)	17 (27.9%)	△3	41 (28.3%)	41.5%
介護用品・その他	6 (50.0%)	6 (53.1%)	0	13 (52.0%)	46.2%
一般管理費	33 (15.3%)	36 (18.0%)	2	83 (19.3%)	42.2%
営業利益	11 (5.3%)	10 (5.0%)	△2	22 (5.1%)	45.5%
経常利益	11 (5.3%)	11 (5.4%)	△1	22 (5.1%)	50.0%
当期純利益	8 (3.7%)	7 (3.6%)	△1	14 (3.3%)	50.0%

4. 日本風力開発【連結】 FY25 2Q実績と通期計画

(億円)

	FY24 2Q実績		FY25 2Q実績		前年 同期比	FY25 通期計画		2Q 進捗率
売上高	20		20		△0	54		36.5%
開発	8		8		△0	29		26.3%
O&M	10		11		1	21		52.1%
その他	2		1		△1	4		29.5%
売上総利益	3	(13.0%)	2	(11.6%)	△0	15	(25.9%)	14.9%
開発	△1	(-)	0	(1.3%)	1	4	(13.8%)	2.2%
O&M	3	(29.0%)	3	(23.8%)	△0	9	(42.9%)	28.9%
その他	1	(38.6%)	△0	(-)	△1	2	(50.0%)	-
一般管理費	21	(106.4%)	22	(110.2%)	1	44	(81.5%)	48.7%
営業利益	△18	(-)	△19	(-)	△1	△29	(-53.7%)	-
経常利益	△20	(-)	△20	(-)	△0	△33	(-61.1%)	-
当期純利益	△19	(-)	△21	(-)	△2	△41	(-75.9%)	-

5. 三井住友建設【連結】 FY25 2Q実績と通期計画

(億円)

		FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	2Q 進捗率
売上高		2,183	1,893	△290	4,011	47.2%
建築	計	1,207	950	△257	1,888	50.3%
	国内	953	722	△231	1,392	51.9%
	海外	254	228	△26	496	45.9%
土木	計	975	942	△33	2,122	44.4%
	国内	786	797	11	1,745	45.7%
	海外	190	146	△44	377	38.6%
その他		0	0	△0	1	43.6%
売上総利益		63 (2.9%)	191 (10.1%)	128	430 (10.7%)	44.5%
建築	計	△46 (△3.8%)	70 (7.4%)	116	147 (7.8%)	47.5%
	国内	△68 (△7.1%)	54 (7.5%)	122	104 (7.4%)	52.2%
	海外	21 (8.4%)	16 (7.0%)	△6	44 (8.8%)	36.3%
土木	計	109 (11.2%)	121 (12.8%)	12	282 (13.3%)	42.9%
	国内	99 (12.6%)	108 (13.6%)	9	246 (14.1%)	44.0%
	海外	10 (5.4%)	13 (8.6%)	2	36 (9.4%)	35.4%
その他		0 (95.0%)	0 (95.1%)	△0	1 (97.8%)	42.4%
一般管理費		131 (6.0%)	144 (7.6%)	12	287 (7.1%)	50.2%
営業利益		△68 (△3.1%)	47 (2.5%)	116	143 (3.6%)	33.1%
経常利益		△93 (△4.2%)	34 (1.8%)	127	115 (2.9%)	29.6%
当期純利益		△146 (△6.7%)	27 (1.4%)	173	79 (2.0%)	34.1%

6. 主なグループ会社のFY25 2Q実績と通期計画（前田建設グループ）

（百万円）

連結子会社	(株)エフビーエス ※1			フジミエ研(株) ※1			(株)JM ※2		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画
売上高	8,260	6,930	15,536	5,211	6,622	13,843	10,931	10,543	25,500
営業利益	138	156	313	△ 207	497	351	△ 190	△ 267	150
経常利益	152	180	343	△ 158	543	411	△ 164	△ 256	160
当期純利益	117	117	171	△ 217	640	304	△ 162	△ 258	100

持分法 適用会社	東洋建設(株) ※2			光が丘興産(株) ※2		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画
売上高	65,695	82,527	180,000	2,085	2,193	4,385
営業利益	2,323	2,475	10,350	438	544	827
経常利益	2,165	2,637	10,200	1,370	1,362	2,427
当期純利益	1,879	2,657	8,200	1,116	958	1,470

※1 日本基準・各社の連結

※2 日本基準・単体

7.主なグループ会社のFY25 2Q実績と通期計画（三井住友建設グループ）

（百万円）

国内 連結子会社	三井住建道路(株) ^{※1}			三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)			ドーピー建設工業(株)		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画
売上高	12,602	13,584	30,450	6,822	7,581	19,040	5,051	5,377	11,500
営業利益	△ 266	△ 90	710	△ 169	70	800	△ 14	△ 138	330
経常利益	△ 229	△ 75	710	△ 204	51	700	△ 80	△ 194	160
当期純利益	△ 188	△ 87	420	△ 157	35	487	△ 68	△ 154	90

海外 連結子会社	SMCCコンストラクションインド(株)			(株)SMCCウタマインドネシア			SMCCオーバースーズシンガポール(株)		
	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画	FY24 2Q実績	FY25 2Q実績	FY25 通期計画
売上高	7,406	10,596	22,680	4,047	1,255	4,978	2,949	4,344	9,343
営業利益	471	783	1,221	244	58	817	30	136	302
経常利益	806	910	1,302	214	44	787	9	103	228
当期純利益	620	681	975	129	△ 7	655	7	89	189

※1 日本基準・各社の連結

インフロニア・ホールディングス 統合報告書2025を発行しました！

POINT

トップメッセージ

社長兼CEO岐部が語る、インフロニアの目指す企業価値向上とは



特別対談

リコー山下会長×岐部
変革に挑む経営者対談



社外取締役座談会

社外取締役がそれぞれの視点から今後の展望を語る座談会



(発行日：2025年9月30日)

統合報告書2025の構成

- 【Chapter1】イントロダクション
- 【Chapter2】トップメッセージ 「特集① インフロニア×リコー」
- 【Chapter3】価値創造ストーリー
- 【Chapter4】付加価値の最大化
- 【Chapter5】新たな価値創出 「特集② 社外取締役座談会」
- 【Chapter6】価値創造の基盤強化
- 【Chapter7】データセクション

統合報告書2025はこちらの

QRコード/URLよりダウンロードいただけます。

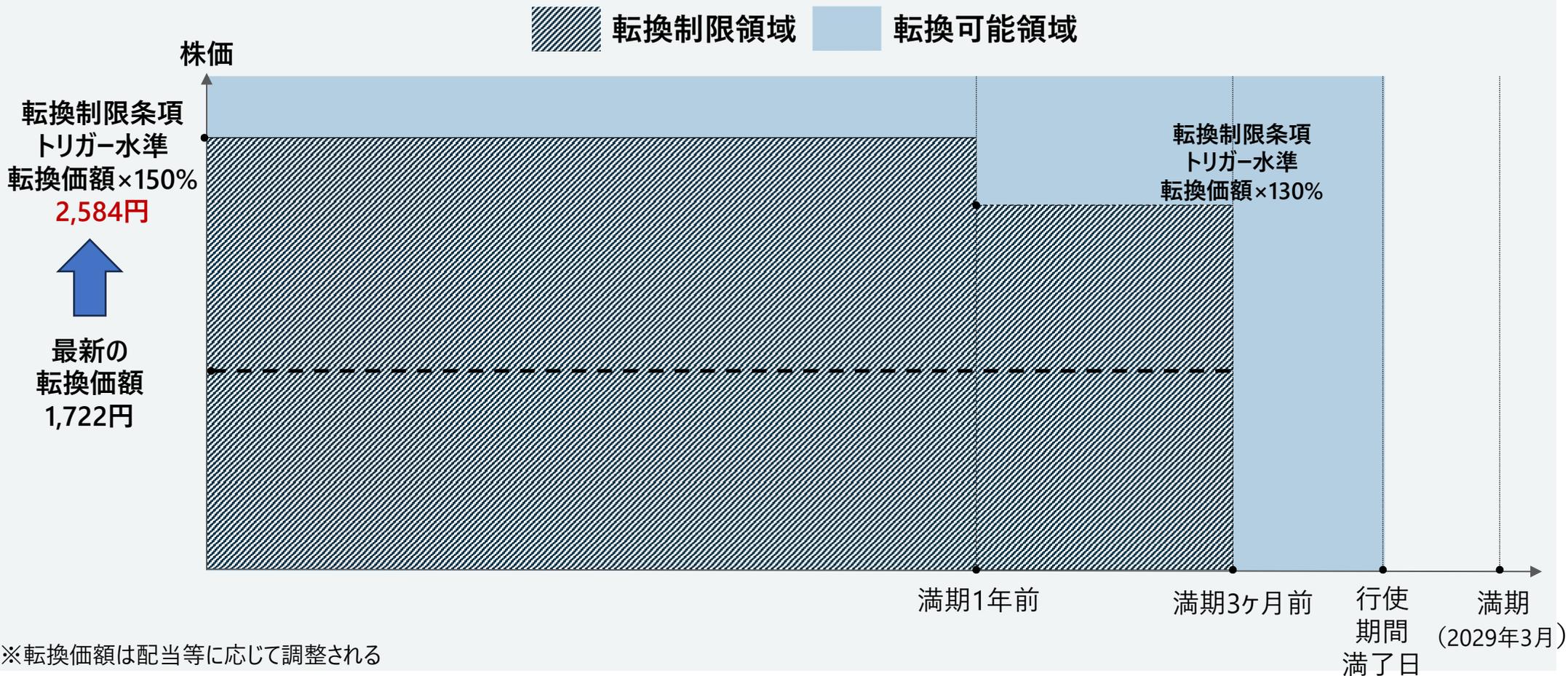
https://www.infroneer.com/jp/sustainability/integrated_report/



【補足資料】ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の転換制限条項について

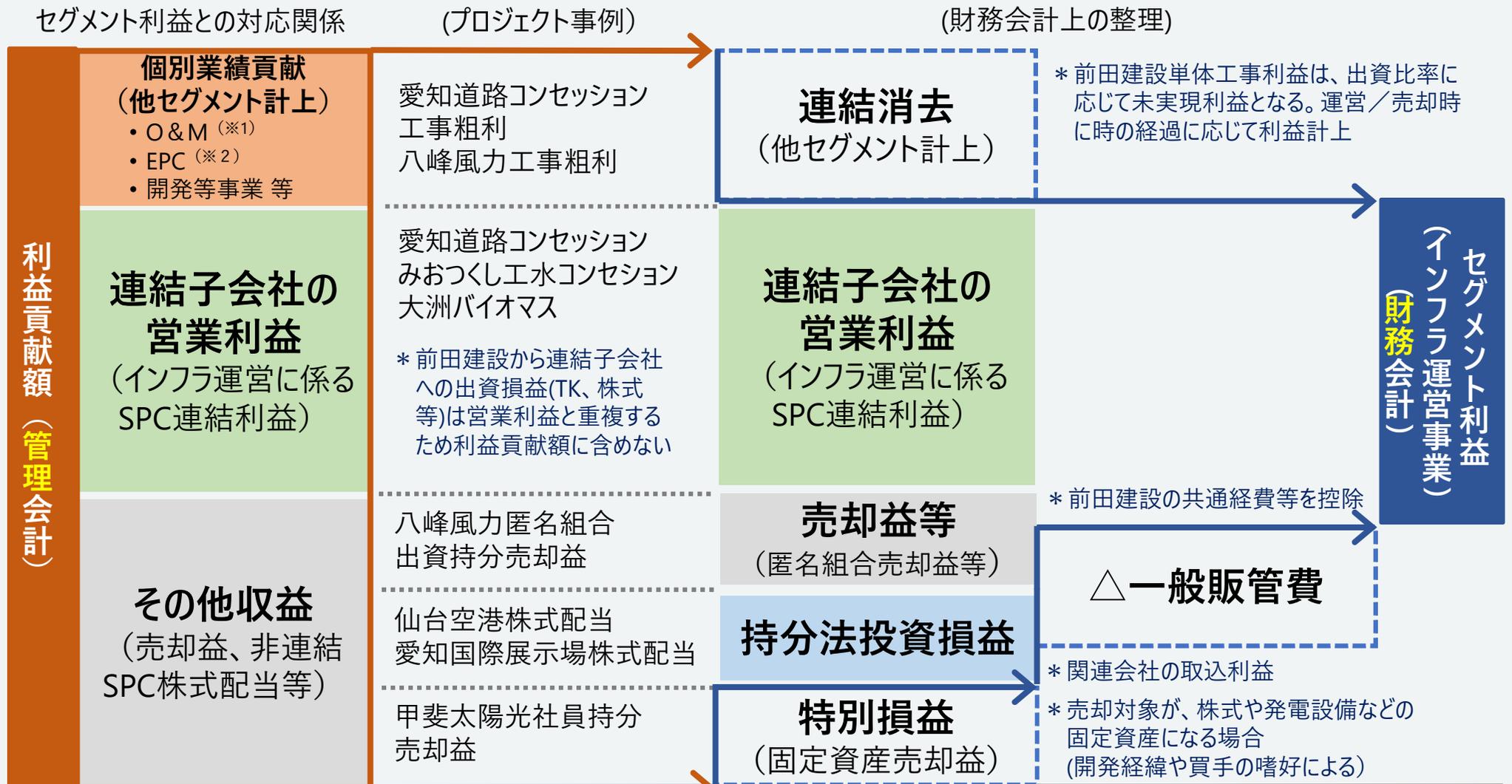
- 2024年3月に600億円のユーロ円建転換社債型新株予約権付社債（グリーンCB）の発行を決議
- **転換制限条項の付与**により、転換を極力抑制し、既存株主の議決権希薄化に配慮
- **最新の転換価額の150%超の株価が20連続取引日以上続いた場合、新株に転換可能**となる
(満期1年前から3か月前の期間は転換価額の130%)
- 2025年11月14日時点の転換価額は1722.8円であり、**株価2,584円を20連続取引日以上超えない限り転換可能と**
ならない

転換制限条項のイメージ



【補足資料】インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて

- 「利益貢献額」は、連結子会社個別の工事粗利、その他収益、営業利益を合計した**管理会計上の実質的な貢献額**。出資比率や売却スキームにより、連結上の利益表示箇所が異なることを考慮したもの
- 連結財務諸表の「**セグメント利益(インフラ運営事業)**」は、利益貢献額に含まれる工事利益などを連結消去し、管理部門の共通経費を控除した**財務会計上の営業利益**で、営業外/特別損益を計上する前の値



※利益貢献額では、前田本社共通経費等の一般管理費を考慮していない

※1 O&M インフラ施設の運転保守管理業務等
 ※2 EPC インフラ運営事業に伴う新築工事 大規模修繕工事等

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信等を基にした数字を億円単位とし、四捨五入しております。また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAFRONTIER Holdings Inc**